

令和元年度 >>> 3年度

王寺町総合計画 実施計画



人とまちがきらめく
やわらぎ
和のふるさと 王寺

奈良県 王寺町

目 次

I 実施計画の策定にあたって

(1) 基本的な考え方	3
(2) 計画期間	3

II 施策別の体系

(1) 計画の体系	4
(2) 施策別「実施計画シート」の見方	5
(3) 実施計画シート	
◆共通のまちづくり目標 住民に開かれ自立するまちづくり	
施策1 参画・協働	7
施策2 広報広聴・情報公開	7
施策3 人権	8
施策4 男女共同参画	9
施策5 行政サービスの提供	10
施策6 行政経営	11
施策7 広域連携	12
◆まちづくり目標1 快適で暮らしやすいまちづくり	
施策8 土地利用	15
施策9 住宅環境	16
施策10 上下水道	17
施策11 道路	18
施策12 公共交通	19
施策13 環境保全	20
施策14 循環型社会	21
施策15 都市景観	22

◆まちづくり目標2 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策16	防災体制	25
施策17	避難行動支援	27
施策18	消防・救急体制	28
施策19	防犯・交通安全	29

◆まちづくり目標3 健やかに暮らせるまちづくり

施策20	高齢者福祉	31
施策21	介護保険	32
施策22	障害者福祉	33
施策23	健康づくり	35
施策24	地域福祉	37
施策25	国民健康保険	37

◆まちづくり目標4 人を育みみんなが学べるまちづくり

施策26	保育環境	39
施策27	子育て支援	40
施策28	母子保健	41
施策29	就学前教育	43
施策30	学校教育	44
施策31	生涯学習	47
施策32	青少年健全育成	48
施策33	文化財	50
施策34	文化・芸術活動	51
施策35	スポーツ・レクリエーション	53

◆まちづくり目標5 活力とにぎわいのあるまちづくり

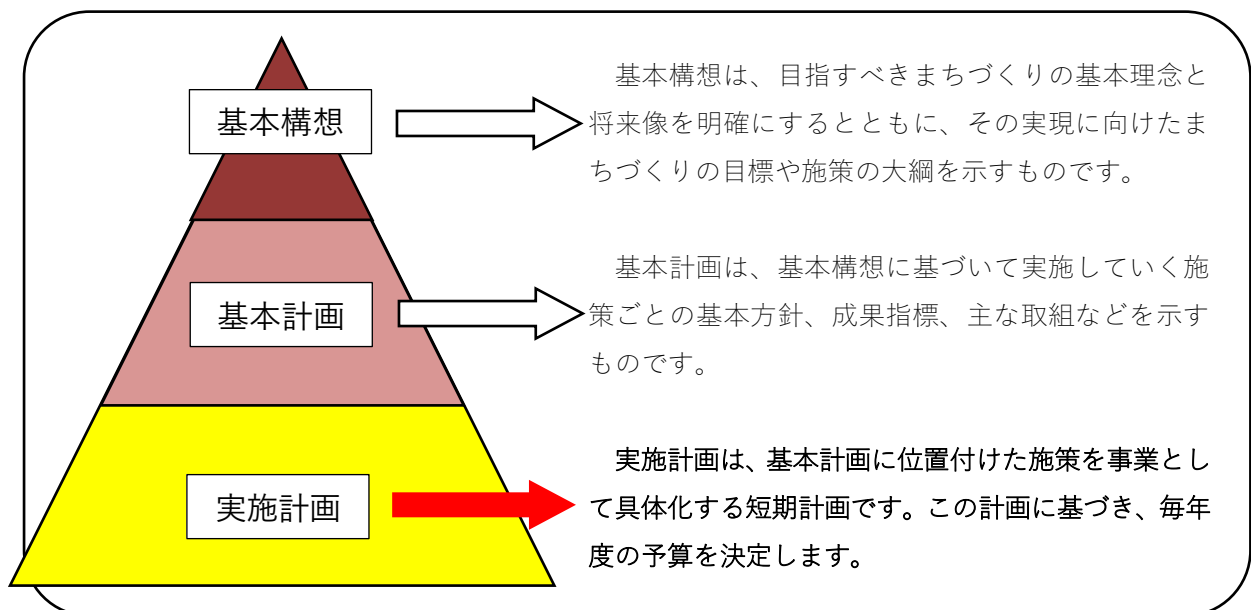
施策36	産業・雇用	57
施策37	定住促進	58
施策38	観光・交流	59

I 実施計画の策定にあたって

(1) 基本的な考え方

実施計画は、王寺町総合計画で設定した将来像の実現に向けて、事業を計画的に推進し、計画期間における町政執行の基礎となるものです。

総合計画体系



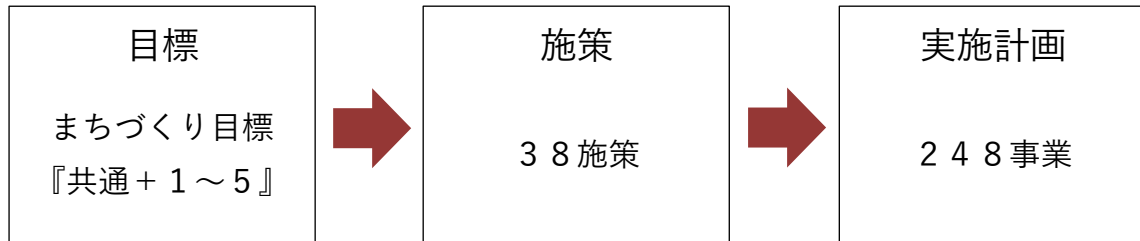
(2) 計画期間

この実施計画は、今後3年間（令和元年度～3年度）の事業計画を示したものです。

R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度
基本構想(R1年度～R10年度)									
前期基本計画(R1年度～5年度)					後期基本計画(R6年度～10年度)				
実施計画			実施計画		実施計画			実施計画	

Ⅱ 施策別の体系

(1) 計画の体系



目標	施策	事業 (令和2年度 新規分)
共通のまちづくり目標 住民に開かれ自立する まちづくり	施策1 参画・協働	5 事業 (0)
	施策2 広報広聴・情報公開	1 事業 (1)
	施策3 人権	6 事業 (0)
	施策4 男女共同参画	3 事業 (0)
	施策5 行政サービスの提供	5 事業 (1)
	施策6 行政経営	6 事業 (1)
	施策7 広域連携	4 事業 (0)
まちづくり目標1 快適で暮らしやすい まちづくり	施策8 土地利用	3 事業 (0)
	施策9 住宅環境	6 事業 (0)
	施策10 上下水道	3 事業 (0)
	施策11 道路	6 事業 (0)
	施策12 公共交通	4 事業 (0)
	施策13 環境保全	9 事業 (1)
	施策14 循環型社会	6 事業 (0)
	施策15 都市景観	2 事業 (0)
まちづくり目標2 安全で安心に暮らせる まちづくり	施策16 防災体制	15 事業 (2)
	施策17 避難行動支援	4 事業 (0)
	施策18 消防・救急体制	7 事業 (1)
	施策19 防犯・交通安全	5 事業 (0)

目標	施策	事業 (令和２年度 新規分)
まちづくり目標３ 健やかに暮らせる まちづくり	施策２０ 高齢者福祉	８事業（１）
	施策２１ 介護保険	６事業（０）
	施策２２ 障害者福祉	９事業（０）
	施策２３ 健康づくり	１３事業（０）
	施策２４ 地域福祉	２事業（０）
	施策２５ 国民健康保険	４事業（０）
まちづくり目標４ 人を育みみんなが 学べるまちづくり	施策２６ 保育環境	７事業（１）
	施策２７ 子育て支援	９事業（０）
	施策２８ 母子保健	１０事業（０）
	施策２９ 就学前教育	８事業（０）
	施策３０ 学校教育	１７事業（１）
	施策３１ 生涯学習	６事業（２）
	施策３２ 青少年健全育成	１１事業（０）
	施策３３ 文化財	１１事業（２）
	施策３４ 文化・芸術活動	９事業（０）
	施策３５ スポーツ・レクリエーション	１２事業（１）
まちづくり目標５ 活力とにぎわいのある まちづくり	施策３６ 産業・雇用	４事業（０）
	施策３７ 定住促進	４事業（１）
	施策３８ 観光・交流	６事業（１）



共通のまちづくり目標

住民に開かれ自立するまちづくり

施策1 参画・協働

施策2 広報広聴・情報公開

施策3 人権

施策4 男女共同参画

施策5 行政サービスの提供

施策6 行政経営

施策7 広域連携

まちづくり目標	★住民に開かれ自立するまちづくり	政策	①協働の仕組みの構築
施策1	参画・協働		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
01-01 タウンミーティング	住民のまちづくりへの理解を深めることを目的に、町長と直接対話する機会として、町内3箇所（地域交流センター・いずみスクエア・文化福祉センター）でタウンミーティングを毎年開催する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【政策推進課】	取組 住民参画の機会の充実			
		事業費	R1年度	45 千円
			R2年度	41 千円
01-02 (仮称)王寺町まちづくり基本条例制定	住民・議会・行政の役割を明記し、協働のまちづくりの基本ルールとなる「(仮称)王寺町まちづくり基本条例」を制定する。条例案作成にあたっては、公募住民もメンバーに含めた審議会を開催し、住民参加のもとで条例案を取りまとめ、令和2年12月議会での上程を目指す。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【政策推進課】	取組 協働意識の確立			
		事業費	R1年度	4,157 千円
			R2年度	4,350 千円
01-03 地域自治協議会(まちづくり協議会)設立運営支援	地域が主体となって地域の課題解決を図るための組織として、その地域の特性に応じて多様な主体で構成される「まちづくり協議会」が設立運営されるよう、その仕組みづくりや支援制度を構築する。(まちづくり基本条例案の作成と並行して手法を検討)	R1年度	R2年度	R3年度
新規【政策推進課】	取組 地域を運営する新たな仕組みづくり			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
01-04 地域のリーダー養成講座	仕事をリタイアした高齢者の経験や資格をまちづくりに生かす等、協働のまちづくりの担い手となる地域のリーダーを養成するための講座を開催する。(まちづくり基本条例案の作成と並行して手法を検討)	R1年度	R2年度	R3年度
新規【政策推進課】	取組 人材の育成・確保			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
01-05 合理的配慮の提供支援助成制度	地域住民の集う場である自治会館において、障害のある人に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用の助成を令和2年度より開始。障害のある人の社会参加を支援する。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【福祉介護課】	取組 コミュニティ施設への支援(地域の居場所づくり)			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	500 千円

施策2	広報広聴・情報公開
-----	-----------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
02-01 「オープンデータ」ポータルサイト開設	行政の透明性及び信頼性の向上、また民間によるデータの二次利用に資するため、国(内閣官房)作成のガイドラインに沿って、町保有の情報のオープンデータ化を進める。令和2年度中に公式サイト上に掲載する。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【政策推進課】	取組 オープンデータによる情報提供			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

まちづくり目標	★住民に開かれ自立するまちづくり	政策	②お互いを尊重するまちづくり
施策3	人権		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
03-01 人権学習懇談会	人権尊重のまちづくりに向けた地域社会の絆の構築を推進するため、王寺町人権教育推進協議会が主催する「人権学習懇談会」の開催を支援し、自治会や学校と連携協力して多くの住民が積極的に参加できるよう、内容や形態の工夫改善に努める。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【生涯学習課】	取組「人権学習懇談会」の開催			
		事業費	R1年度	250 千円
			R2年度	250 千円
03-02 人権フェスタ	子どもたちから高齢者の方々まで自由に楽しく参加できる催し物を開催し、楽しい一日を過ごして頂きながら、人権の大切さを知る機会となるよう多彩な内容で実施する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【住民課】	取組「人権フェスタ」の開催			
		事業費	R1年度	700 千円
			R2年度	700 千円
03-03 差別をなくす町民集会	あらゆる差別を許さない人権尊重の意識を深めていただくことを目的に、毎年7月の差別をなくす強調月間の期間中に開催する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【住民課】	取組「差別をなくす町民集会」の開催			
		事業費	R1年度	350 千円
			R2年度	320 千円
03-04 学校での人権教育	自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるよう、人権教育を推進する。また、地域における偉人や伝統文化、自然等を取り入れた、身近で分かりやすい道徳教材を積極的に活用することにより、豊かな道徳性を育む。更に、福祉教育や読書活動を通じて、優しさや思いやりの心を育む教育を推進する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【学校教育課】	取組 学校での人権教育			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
03-05 職員を対象とした人権研修会	町職員を対象に、人権問題の現状と今日的課題をテーマにした研修会を開催し、人権意識を高める。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【住民課】	取組 職員を対象とした人権研修会の開催			
		事業費	R1年度	150 千円
			R2年度	100 千円
03-06 人権相談・特設人権相談	様々な人権相談に対応するため、定期的な相談窓口を開設する。 ・特設人権相談：6月「人権擁護委員の日」 7月「差別をなくす強調月間」 12月「人権週間」 ・人権相談：人権擁護委員により毎月第1・3月曜日開催）	R1年度	R2年度	R3年度
継続【住民課】	取組 人権相談窓口の定期的な開設			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

施策4
男女共同参画

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
04-01 王寺町男女共同参画 基本計画の策定	男女共同参画社会の実現を目指し、国・県の新計画 (計画期間: 令和3年度から令和7年度まで)を勘案し て計画策定に取り組む。	R1年度	R2年度	R3年度
新規 【 地域交流課 】	取組 町の指針となる計画の策定	事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
04-02 王寺町女性活躍推進計画 の策定	(王寺町男女共同参画基本計画に含めて策定)	R1年度	R2年度	R3年度
新規 【 地域交流課 】	取組 町の指針となる計画の策定	事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
04-03 王寺ミラクル100事業	子育て世代の女性の就労・起業、地域貢献の機会を提供 し、「私らしく働きたい」女性を応援する自立したコミュニ ティーづくりを支援する。王寺マルシェの開催、ミラクル ショップichigo経営(チャレンジショップ)により、女性の就 業・起業支援など様々な機会を提供し、自主運営できる ネットワーク組織づくり(人材の発掘・育成)を支援する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続 【 地域交流課 】	取組 人材の発掘・育成と組織づくり	事業費	R1年度 420 千円 R2年度 1,000 千円	

まちづくり目標	★住民に開かれ自立するまちづくり	政策	③健全で効率的な行財政運営
施策5	行政サービスの提供		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
05-01 RPAを活用した業務効率化の検討 新規【総務課】	業務の効率化と長時間労働の抑制を目指し、定型業務を自動処理する「ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)」の活用を検討する。令和2～3年度の間に調査・研究し、実証実験を実施する。結果を踏まえ、将来の本格導入へ予算化などを検討する。 取組 ICTを活用した事務処理の効率化・省力化	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
05-02 施設利用申請窓口へのタブレット端末導入 新規【総務課】	電子申請利用率の向上を目指し、窓口での施設利用申請にタブレット端末を活用する。令和元年度に検討を行い、令和2年度中のサービス開始を目指す。 取組 行政手続きのオンライン化	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 274 千円	
05-03 マイナンバーカードを活用した行政サービスの研究 継続【総務課】	マイナンバーカードの利便性の向上を図るため、行政サービスにおけるカードの活用方法について、国が示す方向性や先進事例をもとに研究する。 取組 マイナンバーカードの普及	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 100 千円	
05-04 AIを活用した住民からの問い合わせに対する自動応答システム(チャットボット)の運用 継続【総務課】	住民サービスの向上と職員の負担軽減に向けた取組として、「AIを活用した住民からの問い合わせ対応業務の自動応答システム」を奈良県と共同で環境構築し、令和元年10月から運用開始。 取組 AI(人工知能)技術の活用	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 1,056 千円	
05-05 窓口でのタブレットを使った音声翻訳アプリ活用検討 継続【総務課】	外国人に対し行政手続きの案内ができるよう、音声翻訳アプリをダウンロードしたタブレット端末を活用した窓口サービスの導入を検討する。 取組 外国人に対する行政サービス	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	

施策6

行政経営

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
06-01 公共施設等総合管理計画の改訂 新規【総務課】	公共施設のファシリティマネジメントを目的として、令和2年度に個別施設計画を策定する。また、個別施設計画に記載した対策の内容を、令和3年度に総合管理計画(令和元年度策定済)に反映させるなど、不断の見直しを行っていく。 取組 「公共施設等総合管理計画」の実行	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
06-02 電子決裁システム導入の検討 新規【総務課】	現在の紙ベースを主体とする一連の決裁行為を電子化することを検討して、本町にとって効果的な文書管理システムの方向性を令和3年度までに見出し、文書管理の効率化を図る。 取組 行財政改革の推進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
06-03 水道庁舎跡地整備事業 継続【上下水道課】	県営水道による全町配水への移行により廃止することとなった第1浄水場跡地の有効利用に向けて、貯水池、配水池等の構造物解体及び受電設備、ポンプ設備等の機器類撤去を行う。 取組 「公共施設等総合管理計画」の実行	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 313,500 千円	
06-04 ふるさと納税の推進 継続【政策推進課】	自主財源の確保と特典品による町のPR、商業振興を目的に、寄附額の増加と特典品の充実を目指す。また企業版ふるさと納税について、令和2年度税制改正により、企業側が利用しやすくなったことから、町事業を積極的にPRして、寄附を募る。 取組 自主財源の確保	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 16,538 千円 R2年度 17,234 千円	
06-05 中期財政計画の更新 継続【政策推進課】	人口減少社会、少子高齢化による税収の減少と社会保障費の増加が見込まれる中、重点事業とその優先順位を明らかにして、将来にわたり健全な財政運営を堅持するための中期財政計画を毎年更新する。 取組 計画的な財政運営	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
06-06 人事評価システムの見直し 新規【総務課】	現行の人事評価システムを見直し、令和2年度中に業務の成果を処遇に反映することを重視しつつ、評価結果から賞与・昇給まで明快なルールに基づいて運用できる新しい人事評価システムを構築する。また、評価者、被評価者に制度への正しい知識を浸透させるための研修を実施する。 取組 職員の育成	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 830 千円	

施策7

広域連携

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
07-01	奈良県との「まちづくりに関する連携協定」に基づき、王寺駅周辺地区のまちづくりの計画立案と事業化を推進する。また、水道事業の広域化はじめ、県と市町村が連携・協働して行政課題を解決していく「奈良モデル」を積極的に活用する。	R1年度	R2年度	R3年度
「奈良モデル」の推進				
継続【政策推進課】				
	取組「奈良モデル」の推進	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
07-02	近隣自治体との広域的な公共施設の相互利用の可能性について、各施設の機能を見極めた上で近隣市町と協議を行いながら検討し、住民の利便性の向上と利用機会の創出等の住民サービスの向上を目指す。	R1年度	R2年度	R3年度
公共施設の相互利用の推進				
新規【総務課】				
	取組公共施設の相互利用の研究(文化施設、スポーツ施設、福祉施設等)	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
07-03	令和元年度に引き続き東京と福岡で「王寺町PR講演会」を開催する。また聖徳太子ゆかりの市町村との連携のもと、「聖徳太子1400年御遠忌プロジェクト」を推進し、観光振興を目的としたイベントを開催する。	R1年度	R2年度	R3年度
聖徳太子1400年御遠忌プロジェクト				
継続【地域交流課】				
	取組聖徳太子ゆかりの地としての連携推進	事業費	R1年度 1,200 千円	R2年度 14,900 千円
07-04	近隣町との広域連携により、令和2年1月に地域の中核病院である奈良県西和医療センター内に病児保育施設を開設。今後、施設が不足すると見込まれる際は、新たな病児保育施設の誘致等を検討する。	R1年度	R2年度	R3年度
病児保育の実施				
継続【子育て支援課】				
	取組「奈良県西和医療センター」における病児保育の実施	事業費	R1年度 4,956 千円	R2年度 3,999 千円
07-05	北葛城郡4町が抱える人口減少問題や地域の賑わい低下等の課題解決のため「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」を設立し、スケールメリットを活かした地域プロモーションに取り組んできた。令和2年度からは、情報発信を目的とした4町共有のHPを充実させることを中心に取り組んでいく。	R1年度	R2年度	R3年度
すむ・奈良・ほっかつ！PR事業				
継続【まちづくり推進課】				
	取組行政課題に応じた連携協力	事業費	R1年度 2,000 千円	R2年度 350 千円
07-06	周辺自治体と連携しながら、各町の役割を見定め、「交通の強み」「宿泊の強み」「観光地の強み」等を活かして西和エリアの活性化を図る。この分野を研究されている高橋教授(近畿大学)の指導のもと関係団体等を交えて勉強会を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
DMO組織づくりに向けた検討				
継続【地域交流課】				
	取組日本版DMOの組織づくり	事業費	R1年度 1,000 千円	R2年度 — 千円

まちづくり目標 1

快適で暮らしやすいまちづくり

施策 8 土地利用

施策 9 住宅環境

施策 10 上下水道

施策 11 道路

施策 12 公共交通

施策 13 環境保全

施策 14 循環型社会

施策 15 都市景観

まちづくり目標	I 快適で暮らしやすいまちづくり	政策	④都市基盤の充実
施策8	土地利用		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
08-01 王寺駅周辺地区まちづくり 基本計画の策定	奈良県と王寺町とのまちづくりに関する基本協定書に基づき、王寺駅周辺地区を対象として、平成30年5月に基本構想を策定。今後その構想を踏まえ、防災上の課題の解決や利便性の向上など、目指すべきまちの姿の実現に向けて、事業内容や事業主体といった具体的な整備計画である「王寺駅周辺地区まちづくり基本計画」の策定を行う。令和2年度以降は、交通政策やまちづくりの研究の有識者や交通事業者などで構成する「王寺駅周辺再整備推進会議」を組織し、専門的な意見交換を行い、引き続き県と協働で策定に向けて取り組んでいく。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【まちづくり推進課】	取組 王寺駅周辺の土地利用・高度利用			
		事業費	R1年度	22,000 千円
			R2年度	20,000 千円
08-02 王寺駅周辺地区まちづくり 個別計画の策定	「まちづくり基本計画」に位置づけられた事業における、5年以内に完了または着手する具体的な取り組みについて、県と個別協定の協議を行ない個別の事業計画を策定した後、個別協定を締結する。ただし、個別協定事業を実施する前年度において、県に対して予算要求協議が必要となる。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【まちづくり推進課】	取組 王寺駅周辺の土地利用・高度利用			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
08-03 畠田駅前整備事業 【ハード】	畠田駅前広場を整備し、歩道を設置することで、交通弱者である子どもや高齢者等の安全を確保する。また、送迎車用のスペースを整備することで車両の通行をスムーズにし、駅前広場の利便性を向上させるとともに、商業施設への誘導を図る(令和5年度完了予定)。更に、バスターミナルを整備するとともに、バス事業者と連携し、畠田駅を起点とした周辺観光施設へのバス路線の新設に取り組む。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【都市計画課】	取組 畠田駅周辺地区の整備			
		事業費	R1年度	60,000 千円
			R2年度	105,000 千円

施策9

住宅環境

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
09-01		R1年度	R2年度	R3年度
耐震診断支援事業	地震時に倒壊し避難、救命、消火等の活動の妨げになる危険性が高く、大規模火災を発生させる可能性もある町内に存する木造住宅について、耐震診断を早急に普及させるため耐震診断員を派遣する。			
継続【まちづくり推進課】	取組 安全で良質な住宅ストックの形成	事業費	R1年度 300 千円 R2年度 30 千円	
09-02		R1年度	R2年度	R3年度
耐震改修支援事業【ハード】	地震発生時における住宅の倒壊等の被害から町民の生命及び財産を守るため、町内に存する既存木造住宅の耐震改修工事及び耐震シェルターの設置工事を行う者に対して、予算の範囲内において、王寺町既存木造住宅耐震改修事業費補助金を交付する。			
継続【まちづくり推進課】	取組 安全で良質な住宅ストックの形成	事業費	R1年度 3,750 千円 R2年度 3,750 千円	
09-03		R1年度	R2年度	R3年度
老朽空き家除却補助【ハード】	耐震性が不足している町内の老朽空き家の除却を推進し、住環境の改善、良好な景観の維持及び地域の安全安心の向上を図るため、予算の範囲内において老朽空き家の除却工事を行う所有者等に対し王寺町老朽空き家除却補助金を交付する。			
継続【まちづくり推進課】	取組 「王寺町空家等対策計画」に基づいた取組	事業費	R1年度 3,000 千円 R2年度 3,000 千円	
09-04		R1年度	R2年度	R3年度
全国版空き家・空き地バンク	平成30年4月より、公募によって選定された2事業者(株)LIFULL、アットホーム(株)が運営している「全国版空き家・空き地バンク」に参加し、空家等の情報を掲載。全国版バンク内においては、空き家情報に加えて物件周辺のハザード情報や地形情報、生活支援情報などの関連情報を地図上に集約し、重ねて表示できる機能が設けられおり、「不動産総合データベース」としての機能を兼ね備えている。			
継続【まちづくり推進課】	取組 中古住宅の流通	事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
09-05		R1年度	R2年度	R3年度
桃山住宅利活用検討事業	時代のニーズに合わせた桃山住宅の整備を行っていくために、令和元年度においては、町営住宅利活用懇話会に向けて、先進地の事例調査や法的な分析・検証の委託業務を行い、実現可能な方策を複数案作成した。その結果を基に懇話会を開催し、王寺町のニーズにあった桃山住宅のあり方を決定していく。			
継続【建設課】	取組 「王寺町営桃山住宅」の利活用	事業費	R1年度 1,500 千円 R2年度 105 千円	
09-06		R1年度	R2年度	R3年度
大田口住宅利活用検討事業	大田口住宅については、老朽化に伴う維持管理費が増加しており、今後、大規模修繕の必要性が高く、存廃を含めた検証を行っていくために、令和元年度においては、町営住宅利活用懇話会に向けて、先進地の事例調査や法的な分析・検証の委託業務を行い、実現可能な方策を複数案作成した。令和2年度からは、その結果を基に懇話会を開催し、王寺町のニーズにあった大田口住宅のあり方を決定していく。			
継続【建設課】	取組 「王寺町営大田口住宅」の管理	事業費	R1年度 1,500 千円 R2年度 105 千円	

施策10	上下水道
------	------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
10-01	水道事業広域化の検討 令和8年度中の県内上水道事業の事業統合に向け、 県域水道一体化検討会の専門部会やワーキンググループで広域化の実現を目指した検討・協議を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
水道事業広域化の検討				
継続【上下水道課】				
	取組 広域化の検討	事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
10-02	老朽配水管の更新【ハード】 生活基盤施設耐震化等交付金の採択を受け、管路更新計画に基づき、耐用年数を経過した老朽配水管の更新を平成26年度からの継続事業として実施。	R1年度	R2年度	R3年度
老朽配水管の更新【ハード】				
継続【上下水道課】				
	取組 老朽配水管の更新	事業費	R1年度	108,060 千円
			R2年度	125,004 千円
10-03	下水道供用開始区域拡大の検討 市街化調整区域における商業施設や事業所の進出等の都市的な土地利用を見据え、地域整備部と協議しながら下水道事業認可区域の変更を検討する。	R1年度	R2年度	R3年度
下水道供用開始区域拡大の検討				
継続【上下水道課】				
	取組 下水道供用開始区域の拡大	事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

まちづくり目標	I 快適で暮らしやすいまちづくり	政策	⑤交通ネットワークの整備
施策11	道路		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
11-01 国道25号道路改良要望活動 継続【まちづくり推進課】	国道25号改良促進三町協議会(王寺町・斑鳩町・三郷町)による奈良県・国土交通省への要望活動。国道25号の三室交差点から本町一丁目交差点までの1.2キロメートル区間における「抜本的な渋滞対策」を要望する。 取組 国道25号の道路改良整備	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 366 千円 R2年度 369 千円	
11-02 国道168号道路整備事業【ハード】 継続【都市計画課】	国道168号は、奈良県における南北の主要幹線道路であるとともに、西名阪自動車道香芝インターチェンジとの結節道路でもあるため、渋滞対策や歩道整備等の機能強化が重要。そのため、本町4丁目交差点以南の4車線化及び歩道の改良整備について早期の実現を目指す。 取組 国道168号の道路改良整備	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
11-03 町内県道整備事業【ハード】 継続【都市計画課】	畠田4丁目交差点からJR畠田駅への進入口となる畠田駅前交差点までを重点交渉区間と位置付け、令和5年度中の完了をめざし、奈良県と協力しながら事業の進捗を図る。 取組 町内における県道の整備促進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
11-04 畠田駅前道路整備事業【ハード】 継続【都市計画課】	歩行者の安全確保や、車両のスムーズな通行のため、畠田駅から国道168号へのアクセス道路及び畠田駅前広場を整備。(令和5年度完了予定) 取組 畠田駅前の道路環境整備	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 60,000 千円 R2年度 105,000 千円	
11-05 久度大橋修繕・耐震補強事業【ハード】 継続【建設課】	安全で安心して利用できる道路ネットワークを確保するために、橋梁の法定点検で修繕が必要と判断された橋梁の修繕を行っていく。令和元年度・2年度において、久度大橋の修繕・耐震補強設計を行う。 取組 橋梁の維持管理	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 30,000 千円 R2年度 47,000 千円	
11-06 橋梁長寿命化事業 継続【建設課】	安全で安心して利用できる道路ネットワークを確保するために、前回点検の平成26年から5年を経過する町内20橋の法定点検を行い、令和2年度において、橋梁長寿命化計画を策定する。以降は、その計画に基づきながら予防的な修繕を進めていく。 取組 橋梁の維持管理	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 11,512 千円 R2年度 6,237 千円	

施策12

公共交通

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
12-01 新たなバス路線の誘致 (畠田駅発)	「奈良県地域公共交通網形成計画」を踏まえて、畠田駅を起終点とする香芝市・上牧町等の近隣市町からの新たなバス路線や、県立馬見丘陵公園北エリア等へアクセスするための新たなバス路線について、路線バス事業者である奈良交通に働きかける。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【まちづくり推進課】	取組 新たなバス路線の整備	事業費		
		R1年度	—	千円
		R2年度	—	千円
12-02 新たなバス路線の誘致 (関空～王寺)	聖徳太子ゆかりの里を訪れる人々の利便性を高めるため、関西国際空港から自動車です約1時間という立地を生かし、直通バスの誘致をバス事業者に働きかける。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【まちづくり推進課】	取組 関西国際空港からの直通バス路線の開設	事業費		
		R1年度	—	千円
		R2年度	—	千円
12-03 将来型公共交通の研究・推進	高齢者やマイカーを所有していない人が多く住むなど、日常生活に移動手段を必要としている地域を検証する。また、急速に進む高齢化に対応した将来型の公共交通(EV化、自動運転化、オンデマンド化)について研究する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【まちづくり推進課】	取組 将来型の公共交通の研究・推進	事業費		
		R1年度	—	千円
		R2年度	—	千円
12-04 バリアフリー整備事業 【ハード】	鉄道駅を中心とした商業施設や公共施設等の既存施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの採用を見据えた改修又は建替えについて、「王寺駅周辺再整備推進会議」の中で大きな項目として協議する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【都市計画課】	取組 鉄道利用者の安全性・利便性の向上	事業費		
		R1年度	—	千円
		R2年度	—	千円

まちづくり目標	I 快適で暮らしやすいまちづくり	政策	⑥環境への配慮
施策13	環境保全		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
13-01 クリーンキャンペーン、CCC活動、自治会への清掃活動の支援	年4回の町民運動等の美化清掃活動時にゴミ袋や清掃道具を配布し、美化運動を通じて町内の美しく豊かな自然を「自分たちのもの」として守り育てていくまちづくりに取り組む。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【住民課】	取組 美化活動の推進			
		事業費	R1年度 13,182 千円	R2年度 13,051 千円
13-02 スポット清掃活動の推進	クリエイト・クリーン・サークル(CCC)団体の美化清掃活動時にゴミ袋や清掃道具の配布を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【住民課】	取組 美化活動の推進			
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
13-03 環境出前講座	小学4年生を対象に、ごみのゆくえやリサイクルの大切さを伝えるために環境出前講座を実施する。(パッカー車やダンプカーの見学も実施)	R1年度	R2年度	R3年度
継続【住民課】	取組 環境教育の推進			
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
13-04 受動喫煙防止条例の制定に向けた研究	平成26年7月1日施行の「王寺町路上喫煙の防止に関する条例」を改正し、平成30年1月1日より「王寺町歩きタバコ及び路上喫煙の防止に関する条例」を施行。同年度で、路上喫煙禁止地区内の喫煙所4箇所の分煙対策を講じ、受動喫煙防止対策を行った。今後、個人の飲食店などの分煙対策を講じる条例の必要性について研究する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【住民課】	取組 路上喫煙の防止			
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
13-05 持続可能な「し尿処理施設」の運営	アクアセンターの余剰能力を有効に活用するため、し尿処理施設受託団体の拡大を検討する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【住民課】	取組 持続可能な「し尿処理施設」の運営			
		事業費	R1年度 48,461 千円	R2年度 47,481 千円
13-06 火葬炉の大規模改修【ハード】	平成18年供用開始後10年以上が経過し、老朽化が目立ってきた火葬炉周辺設備について、平成29年度から8年計画で順次大規模改修工事を実施する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【静香苑環境施設組合】	取組 火葬施設の維持管理			
		事業費	R1年度 22,680 千円	R2年度 22,000 千円
13-07 王寺町災害廃棄物処理計画策定事業	大規模災害時には、被災地において膨大な災害廃棄物が発生し、被災地域の復旧・復興に大きな障害となる。このことから、災害廃棄物の適正かつ迅速な処理と、地域における災害廃棄物の仮置場を事前に定め、廃棄物に関する初期の混乱を最小限にできるよう、令和元年度で計画を策定した。	R1年度	R2年度	R3年度
完了【住民課】	取組 災害廃棄物の処理計画			
		事業費	R1年度 4,000 千円	R2年度 — 千円

環境保全

施策14	循環型社会
------	-------

21

施策14	循環型社会
-------------	-------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
14-05 公用車の更新に係る電気自動車の導入検討【ハード】	老朽化した公用車のうち、その劣化度や走行距離を判断したうえで廃車すべきものがある場合は、充電器を設置する専用の駐車スペースの確保もふまえたうえで、電気自動車への更新を検討する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【総務課】	取組 電気自動車の普及啓発			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
14-06 施設の太陽光発電・蓄電池の設置の促進【ハード】	公共施設の更新時に、大規模災害時の非常用電源設備としての利活用が可能かどうか検討したうえで、再生可能エネルギー発電設備（太陽光発電・蓄電池）の整備を図る。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【住民課】	取組 公共施設における再生可能エネルギー利用促進への取組			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

まちづくり目標	I 快適で暮らしやすいまちづくり	政策	⑦水と緑の保全と創出
施策15	都市景観		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
15-01 景観条例制定事業	王寺町の優れた景観を守るとともに、美しい品格のある都市景観の形成を図り、将来の世代へ引き継いでいくため、景観条例の制定を検討する。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【都市計画課】	取組 景観条例の制定			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

まちづくり目標 2

安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 1 6 防災体制

施策 1 7 避難行動支援

施策 1 8 消防・救急体制

施策 1 9 防犯・交通安全

まちづくり目標	Ⅱ 安全で安心に暮らせるまちづくり	政策	⑧地域防災の充実
施策16	防災体制		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
16-01 ハザードマップの改訂 完了 【 危機管理室 】	令和元年度に、想定される最大規模の降雨を基準とした大和川、葛下川の浸水想定区域を反映したハザードマップを作成。また、スマートフォンやパソコンから容易に閲覧できるWEB版のハザードマップも公開した。 取組 「自分の命は自分で守る」意識の醸成	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 3,380 千円 R2年度 — 千円	
16-02 洪水想定水位標識設置 完了 【 危機管理室 】	令和元年度に、洪水浸水想定区域において予想される水深や避難場所を記載した案内板を、過去に浸水被害のあった久度・本町地区に設置。 取組 「自分の命は自分で守る」意識の醸成	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 3,157 千円 R2年度 — 千円	
16-03 止水板設置補助 【ハード】 継続 【 危機管理室 】	洪水浸水想定区域内の住宅・事業所の浸水被害対策として、止水板を設置した者に対し、止水板設置補助金を交付する。 ※設置費用の1/2(上限500千円) 取組 「自分の命は自分で守る」意識の醸成	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 1,500 千円 R2年度 1,500 千円	
16-04 自主防災組織の連合体結成に向けた支援 新規 【 危機管理室 】	避難所単位等のまとまった複数の自主防災会による活動が行えるよう、協議会等の結成に向けた支援を実施する。 取組 自主防災組織への支援	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
16-05 自主防災組織への運営補助 継続 【 危機管理室 】	災害に強いまちづくりを推進するため、町内の自主防災組織が行う普及啓発活動及び防災資機材の整備に必要な経費に対して補助金を交付する。 ※経費の1/3以内(上限300千円) 取組 自主防災組織への支援	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 1,000 千円 R2年度 1,275 千円	
16-06 防災士ネットワークの運営支援 継続 【 危機管理室 】	令和元年度に組織された「王寺町防災士ネットワーク」の活動を支援して地域における防災活動の推進を図り、全ての自主防災会に防災士が属する体制を目指す。 取組 自主防災組織への支援	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 575 千円	
16-07 防災訓練の実施 継続 【 危機管理室 】	地理的な状況や災害の種類に応じた訓練、また、避難所運営や要支援者の避難支援を想定した実効性のある訓練を実施する。 取組 実効性のある防災訓練の実施	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 1,400 千円 R2年度 1,200 千円	

施策16

防災体制

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
16-08 防災拠点・指定避難所非常用電源整備【ハード】 新規 【 危機管理室 】	役場庁舎(防災拠点)や各指定避難所において、大規模災害時に防災・減災のために必要な設備(非常用電源設備や浸水対策等)の整備を行う。令和2年度に現状調査を行い、整備方針を明らかにする。 取組 避難所機能の強化	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 10,000 千円	
16-09 指定避難所の空調設備整備事業【ハード】 新規 【 危機管理室 】	指定避難所における避難生活環境の整備として、避難者が健康を維持できるように、空調設備の整備・更新を行う。 取組 避難所機能の強化	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 0 千円 R2年度 360,000 千円	
16-10 防災情報伝達手段の検討 継続 【 危機管理室 】	安全・安心メール、町公式LINEアカウントの登録数の増加に取り組むとともに、高齢者等の情報が届きにくい方への対策を検討する。 取組 防災情報等の伝達手段の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
16-11 泉の広場防災公園整備事業【ハード】 新規 【 危機管理室 文化交流課 】	防災の拠点として、防災ヘリコプターが離着陸できるスペースやマンホールトイレ、断水時に飲料水としても使用できる応急給水栓等を備えた防災公園に整備する。 取組 防災拠点施設の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 34,000 千円	
16-12 いずみスクエア災害対策本部機能整備【ハード】 新規 【 危機管理室 】	役場庁舎が被災した場合に第2の災害対策本部としていずみスクエアを使用できるよう、機能整備に向けた検討を令和2年度において行う。 取組 防災拠点施設の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 100 千円	
16-13 「王寺町国土強靱化地域計画」の策定 新規 【 危機管理室 】	令和2年度以降に地域計画に位置付ける事業を選定し、翌年度以降に計画に基づいた事業を実施できるよう「王寺町国土強靱化地域計画」を策定する。 取組 防災拠点施設の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
16-14 地域防災計画の見直し 継続 【 危機管理室 】	地域防災計画について、法改正による見直しや近年の大規模災害を踏まえた災害対応を反映させるための改訂を令和2年度に行う。 取組 支援受入体制の構築	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 4,180 千円 R2年度 繰越	

施策16	防災体制
-------------	-------------

16-15	災害協定の締結	地震等の大規模な災害に備え、遠隔地の自治体及び食料品や日用品、避難所としての施設の提供等、民間事業者も含め効果的な災害協定を締結していく。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【危機管理室】	取組	効果的な災害協定の締結	事業費	R1年度	— 千円
				R2年度	— 千円
16-16	葛下貯水池(テニスコート)整備【ハード】	集中豪雨時の河川増水による浸水被害を解消するため、内水対策貯留池を整備する。なお、貯水池整備にあつては内水を貯める機能だけでなく、平時はテニスコートとして有効活用する。(令和5年度完成予定)	R1年度	R2年度	R3年度
新規【建設課 生涯学習課】	取組	大和川流域の総合治水対策	事業費	R1年度	12,300 千円
				R2年度	— 千円
16-17	ブロック塀等の撤去工事補助【ハード】	道路等に面する、地震時に倒壊のおそれのあるブロック塀等の撤去を促進し、地震時の児童・生徒をはじめとする通行人の安全確保及び迅速な避難のための経路を確保するため、ブロック塀等の撤去工事を行う所有者等に対し、王寺町ブロック塀等の撤去工事補助金を交付する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【まちづくり推進課】	取組	危険なブロック塀の撤去	事業費	R1年度	2,000 千円
				R2年度	2,000 千円

施策17	避難行動支援
-------------	---------------

事業名(担当課)	事業概要	実施時期・事業費
17-01	要支援者名簿の協定締結推進	R1年度 R2年度 R3年度
継続【危機管理室】	取組	事業費
		R1年度 — 千円
		R2年度 — 千円
17-02	個別計画作成の推進	R1年度 R2年度 R3年度
継続【危機管理室】	取組	事業費
		R1年度 — 千円
		R2年度 — 千円
17-03	支援者の確保、福祉・介護に関する研修の実施	R1年度 R2年度 R3年度
新規【危機管理室】	取組	事業費
		R1年度 — 千円
		R2年度 — 千円
17-04	福祉避難所の確保、運営体制	R1年度 R2年度 R3年度
継続【危機管理室】	取組	事業費
		R1年度 — 千円
		R2年度 — 千円

施策18

消防・救急体制

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
18-01		R1年度	R2年度	R3年度
合同訓練の実施(奈良県広域消防組合と王寺町消防団)	奈良県広域消防組合と王寺町消防団との合同消火訓練や資機材を使用した合同救助訓練を実施することで、消防力の強化を図る。			
新規【危機管理室】	取組 奈良県広域消防組合と王寺町消防団の連携強化	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
18-02		R1年度	R2年度	R3年度
消防団第一分団屯所整備【ハード】	老朽化し、耐震基準を満たさない消防団第1分団屯所の建て替えについて、近隣住民と合意形成を図りながら令和2年度に実施設計及び建築工事を行う。			
継続【危機管理室】	取組 奈良県広域消防組合と王寺町消防団の連携強化	事業費	R1年度 7,900 千円	R2年度 64,400 千円
18-03		R1年度	R2年度	R3年度
大規模災害団員制度導入の検討	女性や学生、消防団OBなどによる、大規模災害時に限定して通常の災害団員に加えて出動する「大規模災害団員」制度の導入を、消防庁の方針に基づき検討する。			
新規【危機管理室】	取組 消防団員の確保	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
18-04		R1年度	R2年度	R3年度
救急救命講習実施の推進	自治会や各種団体に救急救命講習の必要性を周知するとともに、自主防災組織や消防団員による火災予防啓発活動及び消化訓練、応急手当、AEDの使用方法等に関する救命講習の実施を支援する。			
継続【危機管理室】	取組 火災予防や救急救命に関する啓発活動に対する支援	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
18-05		R1年度	R2年度	R3年度
高齢者宅への防火訪問の検討(女性消防団)	女性消防団員によるひとり暮らしの高齢者宅への防火訪問の実施を検討する。			
新規【危機管理室】	取組 女性消防団員による高齢者宅訪問	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
18-06		R1年度	R2年度	R3年度
やわらぎキットの普及啓発(王寺町自治連合会事業)	自治連合会が事業主体となって、各自治会長を通して配付している救急医療情報シート「やわらぎキット」について、高齢者や障害者等からの新規申込を増やすと共に、シートの記載内容の定期的な更新を促すことを目的として、町広報紙による周知を行う。			
継続【政策推進課】	取組 「やわらぎキット」の普及啓発・更新	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
18-07		R1年度	R2年度	R3年度
県への休日夜間救急医療体制の要望	休日深夜や平日夜間における救急医療体制の確保のため、西和地域7町で協力し、県に対して要望する。			
継続【保健センター】	取組 休日夜間救急医療体制の確保	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円

まちづくり目標	Ⅱ 安全で安心に暮らせるまちづくり	政策	⑨ 日常生活の安全確保
施策19	防犯・交通安全		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
19-01		R1年度	R2年度	R3年度
地域安全推進委員の活動の推進	町行事において地域安全推進委員による防犯に関する活動を行い、安全安心なまちづくりを促進する。			
継続【危機管理室】		事業費	R1年度	— 千円
	取組 地域防犯活動の促進		R2年度	— 千円
19-02		R1年度	R2年度	R3年度
防犯カメラ設置補助	自治会が自主的に整備を行う防犯カメラの費用について補助金を交付する。(設置費用の1/2以内)			
継続【危機管理室】		事業費	R1年度	500 千円
	取組 防犯カメラの設置		R2年度	500 千円
19-03		R1年度	R2年度	R3年度
消費生活相談窓口の設置	悪質な訪問販売や消費者被害への対策として、週2回(火・木曜10:00~15:00)実施するとともに、自治会や各種団体の申出により、振り込め詐欺やフィッシング詐欺等についての出前講座を実施する。			
継続【住民課】		事業費	R1年度	991 千円
	取組 消費生活トラブルの未然防止		R2年度	1,035 千円
19-04		R1年度	R2年度	R3年度
高齢者運転免許自主返納支援制度の啓発	高齢ドライバーによる交通事故を未然に防止するため、「高齢者運転免許自主返納支援制度」について窓口や広報紙等を通じて啓発を行い、利用を促進する。			
継続【福祉介護課】		事業費	R1年度	— 千円
	取組 高齢者に関する交通安全対策		R2年度	千円
19-05		R1年度	R2年度	R3年度
ゾーン30導入の検討	歩行者や自転車の安全な通行を守るため、自動車の走行が危険な地区において「ゾーン30」の導入を検討する。			
新規【危機管理室】		事業費	R1年度	— 千円
	取組 「ゾーン30」の導入地区の検討		R2年度	— 千円

まちづくり目標 3

健やかに暮らせるまちづくり

施策 2 0 高齢者福祉

施策 2 1 介護保険

施策 2 2 障害者福祉

施策 2 3 健康づくり

施策 2 4 地域福祉

施策 2 5 国民健康保険

まちづくり目標	皿健やかに暮らせるまちづくり	政策	⑩高齢者支援の充実
施策20	高齢者福祉		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
20-01		R1年度	R2年度	R3年度
地域の団体、関係機関とのネットワーク強化	民生委員、自治会など地域の団体、医療と介護の関係者による個別の事例検討会を開催し、連携を強化することで、高齢者の支援機能の充実を図る。			
継続【福祉介護課】	取組 高齢者を支えるためのネットワークづくり	事業費	R1年度 186 千円	R2年度 272 千円
20-02		R1年度	R2年度	R3年度
「見守りねっと」による見守り体制の拡充	地域の様々な事業者や各種団体と協定を締結し、気になる高齢者や子どもを発見(安否確認や生活の異変の察知等)した時に王寺町に連絡・相談していただくなど、迅速な支援につなげるためのネットワークを拡大して機能の充実を図る。			
継続【福祉介護課】	取組 見守りネットワークの整備	事業費	R1年度 327 千円	R2年度 127 千円
20-03		R1年度	R2年度	R3年度
サロン活動への支援	現在実施しているサロン活動に認知症予防や運動などの新しい活動メニューを考案、提示することで、サロン活動の支援を行う。			
継続【福祉介護課】	取組 居場所づくり	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 112 千円
20-04		R1年度	R2年度	R3年度
認知症相談窓口の拡充	現在、専門相談員により月1回開設している認知症相談窓口について、相談回数を増やし、認知症予防に関する助言、受診支援、家族への心理的サポート等の充実を図る。			
継続【福祉介護課】	取組 認知症に関する相談・治療に結びつける連携体制の充実	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
20-05		R1年度	R2年度	R3年度
認知症サポーター養成講座の開催	認知症を理解し、地域で認知症の人やその家族に対して可能な範囲で支援を行う認知症サポーターを増やすため、住民、各種団体、小・中学生を対象とした養成講座を開催。			
継続【福祉介護課】	取組 認知症サポーターの養成	事業費	R1年度 190 千円	R2年度 257 千円
20-06		R1年度	R2年度	R3年度
ICTを活用した認知症高齢者の見守り事業	認知症等による行方不明者の早期発見・保護につなげるため、携帯で読み取ると連絡先が表示されるQRコードが印刷されたシールを事前に配布する見守り事業を実施する。今後、ICTを活用した新たな見守り事業を検討し、重層的な見守り体制を整備していく。			
継続【福祉介護課】	取組 家族への支援	事業費	R1年度 327 千円	R2年度 127 千円
20-07		R1年度	R2年度	R3年度
買い物困難者への対策検討	「買い物困難者」に対する食料品や日用品の宅配又は移動販売や総合スーパー等への移動サービスによる買い物支援など、実効性のあるサービスについて検討を行う。			
継続【福祉介護課】	取組 買い物困難者への対策	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円

施策20

高齢者福祉

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
20-08 第8期王寺町介護保険事業計画及び高齢者福祉計画の策定	「第8期王寺町介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」の策定に伴うニーズ調査に、さらなる施設整備（平成30年度・令和2年度に各1施設開所）の必要性に関する調査項目を盛り込み、その調査結果をとりまとめて計画に反映する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【福祉介護課】	取組「サービス付き高齢者向け住宅」等の整備			
		事業費	R1年度	1,619 千円
			R2年度	— 千円

施策21

介護保険

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
21-01 医療と介護の連携のための多職種連携体制の確立	在宅医療の体制整備のために、地域の医療、介護、福祉、行政の関係者が中心となり、顔の見える関係をつくり、医療と介護の連携等の強化を図ることを目的に、イベントなどを実施。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【福祉介護課】	取組 医療と介護の連携			
		事業費	R1年度	86 千円
			R2年度	147 千円
21-02 入退院調整ルール of 体制構築	介護が必要な方が安心して病院への入退院と在宅療養ができる環境づくりを目的に、平成29年度に西和地域7町における入退院連携マニュアルを作成。引き続き、その運用についてモニタリングを行いながら、医療と介護の連携強化を図る。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【福祉介護課】	取組 地域包括ケアシステムの強化			
		事業費	R1年度	86 千円
			R2年度	147 千円
21-03 介護予防事業等による効果的なリハビリテーションの提供	体操教室のプログラムとして効果的なリハビリテーションを提供し、参加者の体力チェック等による評価と効果検証を行う。また、大学と連携して、理学療法士等による効果的なリハビリテーションをサロン活動の場でも提供する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【福祉介護課】	取組 切れ目のないリハビリテーション体制の推進			
		事業費	R1年度	2,143 千円
			R2年度	2,084 千円
21-04 介護付有料老人ホーム施設整備	介護付有料老人ホームの整備事業を奈良県へ上申し、令和元年10月に採択され、令和2年4月に開設。	R1年度	R2年度	R3年度
完了【福祉介護課】	取組 介護付有料老人ホーム等施設の誘致			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
21-05 住民主体サービスの検討	第8期介護保険事業計画策定の中で、現在実施中の介護予防・日常生活支援総合事業に加え、介護ボランティア等による住民主体のサービス提供に向けた検討を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【福祉介護課】	取組 「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

施策21	介護保険
------	------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
21-06 体操教室の充実 拡充 【 福祉介護課 】	特別養護老人ホーム「てんとう虫」内の地域交流スペースとやわらぎ会館の2か所で、専門職による介護予防のための体操教室を展開し、高齢者が健康づくりや介護予防に取り組む機会を創出。令和2年度から介護付有料老人ホーム「だるま苑」で開催する。 取組 「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	966 千円
			R2年度	1,247 千円

まちづくり目標	皿健やかに暮らせるまちづくり	政策	⑪障害者支援の充実
施策22	障害者福祉		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
22-01 手話言語条例の制定 継続 【 福祉介護課 】	手話が言語であるとの認識に立ち、手話に対する理解の促進に努め、手話を日常的に使用することができる環境を整えることにより、障害のある人もない人も互いに尊重しあいながら、心豊かに共生することのできる地域社会を実現することを目的として、令和2年度において手話言語条例を制定する。 取組 コミュニケーション支援の充実	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
22-0 障害者が地域で活躍できる環境や仕組みづくり 新規 【 福祉介護課 】	障害のある人がサービスの受け手となるだけでなく、高齢者福祉施設での清掃作業などサービスを提供する働き手として地域で活躍できる環境や仕組みづくりを検討する。 取組 活躍できる環境・仕組みづくり	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
22-03 (仮称)愛犬サミット 新規 【 政策推進課 】	補助犬は障害のある人の日常生活や社会参加をサポートすることから、その育成や周知活動に寄与することを目的に、ふるさと納税を活用した支援方法を検討する。また、補助犬制度の普及啓発を目的とした「(仮称)愛犬サミット」を開催する。 取組 コミュニケーション支援の充実	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
22-04 成年後見制度の周知、利用促進 継続 【 福祉介護課 】	障害のある人の権利を擁護する取組として、成年後見制度をホームページの内容の充実等により広く周知するとともに、手続きの援助を行うなど、利用を促進する。 取組 権利擁護の促進	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	1,097 千円
			R2年度	927 千円

施策22

障害者福祉

事業名【担当課】		事業概要	実施時期・事業費		
22-05 特別支援教育の推進	継続【学校教育課】	障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するため、個別の教育支援計画を活用し、幼稚園から小中学校まで切れ目のない支援を推進する。障害の種別ごとに少人数の特別支援学級を設置するほか、通常の学級で授業を受けながら、障害の状態に応じた特別な指導を実施する通級学級を行う。 取組 早期療育と障害児福祉サービスの推進	R1年度	R2年度	R3年度
					
			事業費	R1年度	—
			R2年度	—	千円
22-06 地域生活支援拠点の整備	継続【福祉介護課】	障害のある人の重度化や高齢化を見据え、相談機能の強化や、緊急時の受入れ対応の機能を備えた地域生活支援拠点を西和7町圏域で整備する。 取組 障害福祉サービス等の充実	R1年度	R2年度	R3年度
					
			事業費	R1年度	—
			R2年度	—	千円
22-07 施設や病院から地域生活への移行支援	継続【福祉介護課】	障害により福祉施設や病院に長期間入所や入院している人が地域で暮らせるよう、西和7町障害者等支援協議会において地域移行を推進する部会の設置等を行う。 取組 地域生活への移行支援	R1年度	R2年度	R3年度
					
			事業費	R1年度	51
			R2年度	51	千円
22-08 障害啓発強化期間の作品展等取組の充実	継続【福祉介護課】	障害者週間における作品展等、障害のある人が発表し、また、芸術にふれる機会を設けるとともに、障害に対する理解を促進させる。 取組 障害のある人のスポーツ・文化芸術活動への支援	R1年度	R2年度	R3年度
					
			事業費	R1年度	—
			R2年度	—	千円
22-09 障害者スポーツ活動の取組	継続【福祉介護課 生涯学習課】	奈良県などが主催する障害者に対するスポーツ活動やスポーツイベントについて、団体、広報紙等を通じて情報提供を行い参加を促進する。障害者週間において障害者スポーツに関する展示を行うなど、障害者のスポーツ活動への理解を促進させる。 取組 障害のある人のスポーツ・文化芸術活動への支援	R1年度	R2年度	R3年度
					
			事業費	R1年度	—
			R2年度	—	千円

まちづくり目標	皿健やかに暮らせるまちづくり	政策	⑫健康づくりの推進
施策23	健康づくり		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
23-01		R1年度	R2年度	R3年度
てくてく健康チェックデー	毎週土曜日に保健センターで、保健師・管理栄養士等による健康相談を実施。希望者は活動量計の購入が可能。（自己負担：町在住者1,000円、在勤者2,000円）			
継続【保健センター】	取組 歩く健康づくりの推進	事業費	R1年度 173 千円	
			R2年度 484 千円	
23-02		R1年度	R2年度	R3年度
ウォーキング実践教室	ウォーキング習慣を身につけると共に筋肉トレーニング等をすることで健康寿命の延伸を目指す。			
継続【保健センター】	取組 歩く健康づくりの推進	事業費	R1年度 96 千円	
			R2年度 122 千円	
23-03		R1年度	R2年度	R3年度
シルバーウォーク	高齢者の健康づくり・歩くきっかけづくりとなる外出の機会を提供することを目的に、毎年1回実施。コースは、2つの健脚コースと、健脚コースへの参加が困難な方が参加できるワゴン車コースの計3種類があり、参加者は自分の体力にあわせてコースの選択が可能。			
継続【保健センター】	取組 歩く健康づくりの推進	事業費	R1年度 1,145 千円	
			R2年度 1,144 千円	
23-04		R1年度	R2年度	R3年度
奈良県健康ステーション	奈良県からの受託運営事業である健康ステーションでは、最新の健康機器で気軽に健康チェックを受けられるほか、日々の歩数や中強度の歩行時間がわかる「活動量計」を体験できる機会を提供している。サポーターによる目標達成に向けた継続的な支援も受けることができる。			
継続【保健センター】	取組 歩く健康づくりの推進	事業費	R1年度 3,912 千円	
			R2年度 3,685 千円	
23-05		R1年度	R2年度	R3年度
がん検診実施体制の整備	がんの治療は早期発見が最も重要であることから、町内医療機関と連携した受診勧奨をはじめ、個別通知による受診勧奨や無料クーポン券の配布に取り組む。また、国や県の動向に注目し、最新の情報を収集してがん検診の実施体制を整備する。			
継続【保健センター】	取組 がん検診受診率の向上	事業費	R1年度 18,972 千円	
			R2年度 20,950 千円	
23-06		R1年度	R2年度	R3年度
特定健康診査実施体制の整備（がん検診同時実施）	特定健康診査対象者への個別通知、未受診者への電話勧奨を継続して行うことで、受診率の更なる向上を図る。また、受診結果に基づく適切な保健指導を行うことにより、生活習慣病の抑制を目指す。			
継続【保健センター】	取組 特定健康診査受診率の更なる向上	事業費	R1年度 28,290 千円	
			R2年度 32,622 千円	
23-07		R1年度	R2年度	R3年度
いきいき健康サロン	健康づくり並びに地域づくりのきっかけづくりとして自治会等に出向き、その団体の希望に合わせた健康づくり講座を開催。そこで健康測定機器を使用した健康チェックや、減塩や野菜摂取といった食習慣の改善についての啓発に取り組む。			
継続【保健センター】	取組 出前健康チェックの実施	事業費	R1年度 53 千円	
			R2年度 31 千円	

施策23

健康づくり

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
23-08		R1年度	R2年度	R3年度
健康ポイント事業	健康の保持・増進、生活習慣病予防や高齢者の介護予防を目的として、がん検診の受診や歩くことによりポイントが得られ、集めたポイントに応じて商品券と交換できる事業を実施。			
継続【保健センター】	取組「健康づくりポイント制度」の創設	事業費	R1年度 734 千円	R2年度 340 千円
23-09		R1年度	R2年度	R3年度
喫煙防止対策	禁煙に取り組むボランティア団体と協働し、小・中学校で「喫煙防止教室」を開催するなど、年間を通してたばこの害に関する啓発活動を実施。			
継続【保健センター】	取組 喫煙を防ぐための取組	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
23-10		R1年度	R2年度	R3年度
ヘルスアップサポーター(健康づくり推進員)の養成	健康寿命の延伸を目指し、身近な場所で「健康」について考え実践する機会を創出するため、令和2年度より「ウォーキング」や「運動」に特化したヘルスアップサポーター(健康づくり推進員)を養成する。			
新規【保健センター】	取組 健康づくりボランティアや住民活動の推進	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 162 千円
23-11		R1年度	R2年度	R3年度
やわらぎ体操普及推進員の養成	町歌に合わせたオリジナル健康体操「やわらぎ体操」の啓発・普及に取り組み、健康保持・増進、生活習慣病予防、高齢者の介護予防を目指す。また、より身近な場所で体験できるよう、やわらぎ体操普及推進員を養成する。			
継続【保健センター】	取組 やわらぎ体操の啓発・普及	事業費	R1年度 7 千円	R2年度 0 千円
23-12		R1年度	R2年度	R3年度
自殺対策計画の推進	平成31年3月に「王寺町自殺対策計画」を策定。その基本理念「お互いを思いやり 命を大切にすまちな王寺町」の実現を目指して、一般住民や職員を対象にしたゲートキーパー養成講座の開催や、自殺予防のパンフレットの配布等の普及啓発に取り組んでいく。			
継続【保健センター】		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 325 千円
23-13		R1年度	R2年度	R3年度
「第4次王寺町健康増進計画及び食育推進計画」の策定・推進	令和元年度にマイアセスメント調査を実施、令和2年度に「第4次王寺町健康増進計画及び食育推進計画」を策定し、計画に基づいた取組を推進する。			
継続【保健センター】		事業費	R1年度 1,134 千円	R2年度 2,760 千円

まちづくり目標	Ⅲ 健やかに暮らせるまちづくり	政策	⑬ 地域で支え合うまちづくり
施策24	地域福祉		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
24-01 介護ボランティア支援事業 継続 【社会福祉協議会】	地域で支え合い、助け合えるまちづくりを目指して、介護（生活支援）ボランティア養成講座を実施する。地域における支え合いに必要なボランティアとしての心得や知識を学んでいただき、実践へとつなげていくことを目的とする。 取組 ボランティア活動の推進	R1年度 R2年度 R3年度		
		事業費	R1年度 250 千円 R2年度 0 千円	
24-02 サロン活動の充実 継続 【社会福祉協議会】	少子高齢化や核家族化、ひとり暮らし世帯の増加を背景とした地域のつながりの希薄化を防止するため、自治会館など身近な場所でのふれあいサロン活動を通じた「顔の見える関係づくり」「地域のつながりづくり」を進める。各サロン代表者に出演ボランティアを紹介するなど催し物の内容を充実させる。 取組 居場所づくりの推進	R1年度 R2年度 R3年度		
		事業費	R1年度 610 千円 R2年度 590 千円	

施策25	国民健康保険
------	--------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
25-01 特定健康診査未受診者受診勧奨 継続 【国保健康推進課】	特定健診の未受診者に対し、過去の検査結果を記載した通知書を送付し、特定健診への受診勧奨を行う。通知書の内容は、検査値をレーダーチャートで分かりやすく表現したものとする。また、電話による受診勧奨も行う。 取組 「第2期王寺町国民健康保険データヘルス計画」に基づく保健事業	R1年度 R2年度 R3年度		
		事業費	R1年度 1,587 千円 R2年度 2,130 千円	
25-02 健診異常値放置者受診勧奨 継続 【国保健康推進課】	特定健診で異常値が出ているにもかかわらず、医療機関を受診していない被保険者に対して、医療機関への受診勧奨を行うことで、生活習慣病の早期予防につなげ、重症化を防ぐ。 取組 「第2期王寺町国民健康保険データヘルス計画」に基づく保健事業	R1年度 R2年度 R3年度		
		事業費	R1年度 1,299 千円 R2年度 1,207 千円	
25-03 糖尿病性腎症重症化予防 継続 【国保健康推進課】	特定健診の結果とレセプトの状況から対象者を特定し、看護師による対象者個人の6か月間の面談指導と電話指導を行う。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるようにする。 取組 「第2期王寺町国民健康保険データヘルス計画」に基づく保健事業	R1年度 R2年度 R3年度		
		事業費	R1年度 3,348 千円 R2年度 3,098 千円	
25-04 ジェネリック医薬品への切替促進 継続 【国保健康推進課】	医療費の適正化のため、保険証の送付時に「ジェネリック医薬品希望シール」を同封したり、国保事務支援センターを通じて「ジェネリック差額通知」の送付を実施する。 取組 ジェネリック医薬品への切替促進	R1年度 R2年度 R3年度		
		事業費	R1年度 376 千円 R2年度 148 千円	

まちづくり目標 4

人を育みみんなが学べるまちづくり

施策 2 6 保育環境

施策 2 7 子育て支援

施策 2 8 母子保健

施策 2 9 就学前教育

施策 3 0 学校教育

施策 3 1 生涯学習

施策 3 2 青少年健全育成

施策 3 3 文化財

施策 3 4 文化・芸術活動

施策 3 5 スポーツ・レクリエーション

まちづくり目標	IV人を育みみんなが学べるまちづくり	政策	⑭子ども・子育て支援の充実
施策26	保育環境		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
26-01 民間による認定こども園 や小規模保育園等の施設 整備の検討 継続【子育て支援課】	待機児童を発生させないための体制の確保を図るとともに、今後の保育ニーズの変化に注意し、必要に応じて民間による認定こども園や小規模保育園等の施設整備を検討する。 取組 受入れ体制の確保	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
26-02 保育士確保のための支援 策の検討、保育士の負担 軽減 継続【子育て支援課】	保育士資格取得のための奨学金制度の創設や、保育士資格を有しているものの保育に従事していない潜在保育士への就職支援金の交付等を通じて、就職支援に取り組むことを検討する。また、町内保育園等において、児童の体調管理や保育記録の作成等を補助するICTを活用したシステムの導入を推進する。 取組 受入れ体制の確保	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
26-03 保育所運営助成金の交付 継続【子育て支援課】	保育士の不足によって待機児童を発生させないため、保育士の処遇改善に向け、引き続き、町内の私立保育園等に対し助成金を交付するとともに、助成内容について適宜見直しを行う。 取組 受入れ体制の確保	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 26,735 千円	R2年度 26,640 千円
26-04 病児保育の実施(再掲) 継続【子育て支援課】	広域連携により、令和2年1月に西和地域の中核病院である奈良県西和医療センター内に病児保育施設を開設。今後、施設が不足すると見込まれる際は、新たな病児保育施設の誘致等を検討する。 取組 「奈良県西和医療センター」における病児保育の実施	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 4,956 千円	R2年度 3,999 千円
26-05 放課後児童支援員の処遇 改善、負担軽減 新規【子育て支援課】	放課後児童支援員の人材確保対策として、勤続年数や研修実績等に応じた処遇改善を検討する。また、利用状況の管理や保護者への連絡、記録作成等の事務について、ICTの活用により支援員の負担軽減を検討する。 取組 学童保育の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
26-06 学童保育の充実 継続【子育て支援課】	子どもが安心して過ごせる環境を整えるため、学童保育を利用する児童数に応じて施設や備品の整備等を行うとともに、放課後児童支援員が研修を受講すること等により資質の向上を図る。 取組 学童保育の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 72,575 千円	R2年度 72,078 千円
26-07 在園第2子目の保育料減 免 継続【子育て支援課】	令和元年10月からの国の制度下による幼児教育・保育の無償化を実施。その対象外となる0歳から2歳までの子どもを持つ住民税課税世帯についても、経済的負担の軽減を図るとして、町独自施策として在園第2子目の保育料の全額減免を町の財政状況を見極めながら実施する。 取組 在園する第2子目の保育料減免	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 28,278 千円	R2年度 24,343 千円

施策27

子育て支援

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
27-01 ファミリー・サポート・センター事業の実施 新規【子育て支援課】	地域で子育てを支える取り組みとして、育児援助を提供したい住民と受けたい住民を会員として組織化。令和2年度から、子どもの一時預かりや送迎等の会員相互の援助活動を実行する。 取組 子育て支援体制の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 214 千円 R2年度 689 千円	
27-02 産前産後ヘルパー事業 継続【子育て支援課】	多胎や早産のおそれ、産後うつ等の症状があり、出産前後に周りの支援を受けることが困難である母親を対象に実施の「産前産後ヘルパー事業」について、一時的な体調不良等でも利用できるよう対象を拡大する。 取組 子育て支援体制の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 789 千円 R2年度 789 千円	
27-03 産後ショートステイ・デイケア事業 新規【保健センター】	令和元年度より、育児に不安がある産後間もない母親や、親族から支援がなく家事や育児等の日常生活を送ることが困難な母親へのサポートとして、提携先の助産院で母子で滞在しながら、助産師から産後の健康管理や育児についての必要な指導を受けられるサービスを実施。 取組 「すくすく子育て支援センター（王寺町版ネウボラ）」の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 714 千円 R2年度 1,000 千円	
27-04 すくすく子育て支援センター 継続【保健センター】	保健師等の専門職が、妊娠期から出産、子育て期にわたって切れ目ない支援を行う。子育てに関する相談に対応するとともに、必要に応じて関係機関と連携を実施する。 取組 「すくすく子育て支援センター（王寺町版ネウボラ）」の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 1,259 千円 R2年度 1,267 千円	
23-05 子育て広場（すくすく、わくわく、どんぐり） 継続【保健センター】	親子の交流や保護者同士の交流、専門職へ子育て相談ができる室内広場として、保健センター、いずみスクエア、文化福祉センターの3カ所に「子育て広場」を開設。 取組 「すくすく広場」の充実（地域子育て支援拠点事業）	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 5,408 千円 R2年度 5,871 千円	
27-06 心の相談 継続【保健センター】	心の健康について専門の看護師に相談できる機会を設け、よりきめ細かい子育て支援を行うことで、育児不安の軽減や虐待防止を図る。 取組 児童虐待防止	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 142 千円 R2年度 147 千円	
27-07 児童虐待等防止ネットワークの強化 継続【子育て支援課】	医療機関、教育機関、地域の関係機関と連携を深め、子どもの状況に応じて個別検討会議を実施するとともに、担当職員の専門研修の受講を促進する。 取組 児童虐待防止	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 30 千円 R2年度 30 千円	

施策27

子育て支援

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
27-08 児童虐待の早期発見	地域の児童相談所に直接つながる「児童相談所虐待対応ダイヤル(189)」の普及・啓発を行うとともに、子育て家庭と妊産婦等を支援するため、児童相談所や保健センター等の関係機関と情報共有し、実態把握や相談対応等のソーシャルワークを行う「子ども家庭総合支援拠点」の設置に向けて取り組む。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【子育て支援課】	取組 児童虐待防止	事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
27-09 ICTを活用した情報発信	スマートフォンやタブレットで気軽に子育て施策に関する情報を得られるよう、広報紙や町公式サイトでの情報発信だけでなく、ICTを活用し、SNS等での情報発信に取り組む。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【子育て支援課】	取組 ICTを活用した情報発信	事業費	R1年度 — 千円 R2年度 千円	

施策28

母子保健

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
28-01 第4次王寺町母子保健計画の推進	平成30年3月に「Hands-onすこやか親子21(第4次王寺町母子保健計画)」を策定。その基本理念である「地域の愛につつまれて すくすく子育て 親育ち」の実現を目指して、ボランティアなど様々なメンバーと連携を図りながら事業に取り組む。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 「第4次王寺町母子保健計画」における支援事業の展開	事業費	R1年度 41 千円 R2年度 42 千円	
28-02 乳幼児健診(4か月、10か月、1歳6か月、2歳、3歳6か月)	4か月、10か月、1歳半、2歳歯科、3歳半の対象児に乳幼児健診を実施。健康状態や発育・発達の確認を行うとともに、育児に関する保護者の不安の軽減を図るよう努める。また、未受診者を把握し、受診勧奨を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 乳幼児健診の受診	事業費	R1年度 8,242 千円 R2年度 9,038 千円	
28-03 子育て教室(ふれあいのつどい、ミッキークラス、エルモ)	0歳児(ふれあいのつどい)、1歳児(ミッキークラス)、2歳児(エルモクラス)の親子教室を開催し、遊びを通して親の友達づくりや、育児不安の解消、情報交換の場を提供する。また、生活リズムや食事などの生活習慣をテーマに勉強会を実施。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 生活習慣づくり	事業費	R1年度 1,147 千円 R2年度 1,281 千円	
28-04 任意接種費用助成(風疹)	妊娠中の女性が風疹にかかると生まれてくる赤ちゃんが先天性風疹症候群になる可能性があることから、風疹の流行を防ぎ、妊婦と赤ちゃんの健康を守るため、ワクチン接種費用の助成を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 任意接種費用助成の継続	事業費	R1年度 900 千円 R2年度 600 千円	

施策28

母子保健

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
28-05 任意接種費用助成(ロタ、おたふくかぜ、B型肝炎、インフルエンザ)	子どもの健やかな成長を実現するとともに、保護者の経済的な負担を軽減するため、予防接種費用(任意接種)の助成を行う。なお、令和2年10月よりロタが定期接種に変わるため全額公費となる。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 任意接種費用助成の継続	事業費 R1年度 8,220 千円 R2年度 5,895 千円		
28-06 パパママクラス	妊婦とその家族を対象に教室を開催し、妊娠期から参加してもらうことで、父親の育児参加を促進する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 父親の育児参加の支援	事業費 R1年度 55 千円 R2年度 60 千円		
28-07 父親向けイベント「パパと遊ぼう」	父親の育児参加を促進するため、父親と子どもが遊びを通じてふれあえるイベントを開催する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 父親の育児参加の支援	事業費 R1年度 30 千円 R2年度 30 千円		
28-08 父子健康手帳の交付	子育てに必要な基礎知識を記載した「父子健康手帳」を希望者に交付し、父親の育児参加を促進する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 父親の育児参加の支援	事業費 R1年度 45 千円 R2年度 42 千円		
28-09 一般不妊治療費用の助成	不妊に悩む夫婦の経済的かつ精神的な負担の軽減を図るため、一般不妊治療費用の助成を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 一般不妊治療費用への助成	事業費 R1年度 1,750 千円 R2年度 1,560 千円		
28-10 多胎妊婦健診費用の助成	多胎妊婦の適正な保健管理と経済的負担の軽減を図るため、15回目以降の妊婦健診費用の追加助成を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【保健センター】	取組 多胎妊婦健診費用の助成	事業費 R1年度 100 千円 R2年度 100 千円		

まちづくり目標	IV人を育みみんなが学べるまちづくり	政策	⑮学校教育の充実
施策29	就学前教育		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
29-01 町立幼稚園での幼児教育推進事業 継続【子育て支援課 学校教育課】	五感を育む体験や基礎体力を向上させる取組、花や野菜を育てる環境教育、幼児と児童の交流等、人格形成の基礎を培うことのできる特色かつ魅力ある取組を推進する。 取組 町立幼稚園での幼児教育推進事業	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	1,000 千円
			R2年度	1,000 千円
29-02 町立幼稚園での預かり保育事業の充実 継続【子育て支援課】	保護者の子育てを支援するため、夏休み等の長期休暇中や、午後5時までの預かり保育を引き続き実施するとともに、実施日数の確保等を含め、保護者のニーズに対応できるよう見直しを図る。 取組 町立幼稚園での預かり保育事業の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	5,217 千円
			R2年度	6,570 千円
29-03 町立幼稚園での給食の実施 新規【学校教育課】	豊かな食の体験を積み重ね、食べる意欲を育み、生涯にわたって健康で質の高い生活を送る基本となる「食を営む力」の基礎を培うため、令和4年4月開校の義務教育学校と併せて整備する新給食調理場を活用した町立幼稚園での給食の実施に向けて取り組む。 取組 町立幼稚園での給食の検討	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	30 千円
29-04 ブックスタート・セカンドブック 継続【文化交流課】	親子のふれあい、子どもが本と親しむきっかけづくりとして、4か月健診時及び1歳6か月健診時に子どもとその保護者に対して、絵本を贈呈する。 取組 「ブックスタート」等の家庭教育の支援	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	379 千円
			R2年度	202 千円
29-05 雪丸図書館ロボットの活用 継続【文化交流課】	雪丸ロボットを活用して絵本の読み聞かせ等を実施する。 取組 「ブックスタート」等の家庭教育の支援	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	393 千円
			R2年度	396 千円
29-06 幼保小接続の推進 継続【学校教育課 子育て支援課】	幼稚園・保育園と小学校が連携して、園児・児童の交流や互いの教育を理解しあう教職員の研修会等、幼保小の円滑な接続を推進する。 取組 幼小接続の推進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
29-07 外国人講師による英語教育の実施 継続【学校教育課】	好奇心旺盛で感受性に優れ、言語能力が発達する幼児期に、ネイティブスピーカーである外国人講師による英語教育を引き続き行い、コミュニケーション能力・自己表現能力を育成する。 取組 英語教育の継続	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	1,736 千円
			R2年度	1,736 千円

就学前教育

施策30	学校教育
------	------

44

施策30

学校教育

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
30-05 AI発展とプログラミング教育 新規【学校教育課】	AIによる一人ひとりの習熟度に応じた学びを実現するため、児童の理解度に応じた復習教材を提供する「個別最適化学習システム」を導入する。また、児童生徒がコンピューターに意図した処理を行うよう指示する体験をさせながら、プログラミング的思考を育成する「プログラミング教育」を推進する。（令和2年度から小学校で必修化） 取組 AI発展とプログラミング教育	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
30-06 「王寺町寺子屋塾(雪丸サポートスクール)」の充実 継続【生涯学習課】	地域の経験豊富な人材を活用して、放課後に宿題や予習、復習、教材プリントによる学習を行える機会を提供することで、町内の小中学生の学力及び学習意欲の向上を図る。 取組 「王寺町寺子屋塾(雪丸サポートスクール)」の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 14,616 千円 R2年度 13,895 千円	
30-07 いじめの未然防止、早期発見・再発防止 継続【学校教育課】	「王寺町いじめ防止基本方針」等に基づき、教職員や保護者、PTA等の地域の関係団体が連携して、いじめの未然防止、早期発見及び早期対応、再発防止に取り組む。 取組 いじめの未然防止、早期発見・再発防止	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
30-08 地域の歴史を学ぶ～郷土愛の醸成～ 継続【学校教育課】	聖徳太子の愛犬「雪丸」を活用しながら、生まれ育った地域の豊かな自然や歴史等に親しみ、理解を深め、郷土への愛着や誇りを育む。 取組 地域の歴史を学ぶ～郷土愛の醸成～	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
30-09 中学生議会 見直し【学校教育課】	町行政の仕組みについて理解を深めるとともにまちづくりへの関心を高めることを目的に、「中学生議会」を開催する。 取組 まちづくりへの関心を高める機会の創出	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 51 千円 R2年度 55 千円	
30-10 子ども一日町長体験 継続【政策推進課】	「まちづくり」に対する理解と関心を深め、ふるさとを愛する気持ちを育てることを目的として、小学5・6年生を対象にした「子ども一日町長体験」イベントを開催する。事前に「自分が町長になったら」をテーマにした作文を募集し、応募してきた児童から約10名を選考。議場での所信表明や町内施設の巡回、町長との懇談等の内容で実施。 取組 まちづくりへの関心を高める機会の創出	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 67 千円 R2年度 64 千円	
30-11 学校や地域との連携による環境教育の推進 継続【学校教育課】	地域の団体の協力のもと、菜の花の栽培や菜種油の採取、さつま芋の苗植えや収穫体験、また「花いっぱい運動」などを通して、自然を大切にする心や環境美化に対する意識の向上を図る。 取組 学校や地域との連携による環境教育の推進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	

施策30	学校教育
------	------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
30-12		R1年度	R2年度	R3年度
教育機関(幼保小中高大)の連携強化	児童生徒等の環境教育、学生による授業支援、行事の合同開催等、世代を超えた交流活動を推進するとともに、教育機関同士の連携を図る。			
継続【学校教育課】	取組 教育機関(幼保小中高大)の連携強化	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
30-13		R1年度	R2年度	R3年度
「チーム学校」の実現	教職員一人ひとりが力を発揮し、子どもが必要な資質・能力を育むことができる環境を構築するために、臨床心理や福祉等の専門職を学校に配置し、チーム体制の質の確保と充実を図るなど、国や県の動きを参考に学校、地域と連携した体制の整備を検討する。			
継続【学校教育課】	取組 「チーム学校」の実現	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
30-14		R1年度	R2年度	R3年度
読書活動の推進	司書教諭を中心に学校図書館の図書の充実を図る。読書への関心を高めるため、令和元年10月、小中学校の図書室に、児童生徒自ら貸出返却ができる「雪丸図書システム」を整備。			
継続【学校教育課】	取組 読書活動の推進	事業費	R1年度 9,232 千円	R2年度 9,498 千円
30-15		R1年度	R2年度	R3年度
新給食共同調理場の運営方針の決定	新給食共同調理場の運営方針について、視察等を行い、コスト、安全管理面等で直営もしくは業者委託のどちらが適切か比較検討し、運営方針を決定する。			
継続【学校教育課】	取組 新給食共同調理場の整備	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
30-16		R1年度	R2年度	R3年度
部活動における外部指導員の活用	教員の負担軽減、部活動の指導を充実させるため、外部指導員の活用を図る。ホームページ等への掲載を通して広く人材を募るとともに、「王寺町体育協会」や「やわらぎトラスト」の指導者等の協力を得ながら、指導ができる人材の確保に努める。			
継続【学校教育課】	取組 部活動における外部指導員の活用	事業費	R1年度 5,796 千円	R2年度 5,844 千円

まちづくり目標	IV人を育みみんなが学べるまちづくり	政策	⑯生涯学習の充実
施策31	生涯学習		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
31-01		R1年度	R2年度	R3年度
人材バンク制度の創設	文化活動や体育・スポーツの知識・技能を有する人を指導者として登録、活用する「人材バンク制度」を創設し、様々な生涯学習の機会を提供する。			
新規 【生涯学習課】	取組 新たな学習機会の提供と人材確保	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
31-02		R1年度	R2年度	R3年度
王寺町文化祭	日頃の生涯学習の学びの成果としての作品や演技、演奏をより多くの人に見てもらえるよう、「奈良県大芸術祭・障害者大芸術祭」に参加するなど幅広い世代の参加に向けて取り組むとともに、次代に即した開催内容を検討する。			
継続 【文化交流課】	取組 「王寺町文化祭」の実施	事業費	R1年度 817 千円	R2年度 1,191 千円
31-03		R1年度	R2年度	R3年度
町立図書館のリニューアル【ハード】	幼児期からの読書習慣の定着を促すため、子育て世代に優しい図書館となるようリニューアルを行う。 ・児童書コーナーの充実 ・授乳室の設置			
新規 【文化交流課】	取組 図書館の利用促進	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 16,010 千円
31-04		R1年度	R2年度	R3年度
公民館等の設備更新【ハード】	老朽化が進む南公民館ややわらぎ会館について、計画的に照明や音響等の設備の更新が行えるよう、個別施設計画を令和2年度に策定し、時代に即した改修方法を検討する。			
新規 【文化交流課】	取組 公民館等の設備更新	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 201,000 千円
31-05		R1年度	R2年度	R3年度
施設の効果的な運営（指定管理）	生涯学習施設の拠点となる「いずみスクエア」をはじめ、施設の管理運営について、地域の活力向上並びに住民ニーズに合った行政サービスが提供できるよう、民間事業者による指定管理者制度等の導入を検討する。また、施設利用料の見直しを行うとともに、広域での公共ホール等の相互利用を検討する。			
新規 【生涯学習課 文化交流課】	取組 施設の効果的な運営	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
31-06		R1年度	R2年度	R3年度
王寺町生涯学習施策基本計画策定	住民誰もが学び、その成果を活かすことができる環境づくり、住民の生涯学習の支援につながる施策の更なる推進に向けて、その指針となる計画を策定する。			
新規 【文化交流課】	取組 生涯学習施策に関する基本計画の策定	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円

施策32
青少年健全育成

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
32-01 CS(学校運営協議会制度)の導入 継続【生涯学習課】	学校と地域とのつながりを深めるため、保護者や地域住民とお互いの課題や情報を共有して「地域と共にある学校づくり」を目指し、令和4年4月に開校する義務教育学校にふさわしいコミュニティ・スクールを導入する。 取組 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の検討	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	28 千円
32-02 家庭教育学級の支援 継続【生涯学習課】	子どもたちの健全な成長につなげるため、子育てに関する研修会を開催するとともに、子育て中の悩みを解消する機会を設けるなど、各家庭の子育てを支援する。 取組 家庭教育学級の支援	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	320 千円
			R2年度	320 千円
32-03 野外体験活動 継続【生涯学習課】	海や山村での自然体験活動を実施することにより、未来を担う子どもたちが、たくましく生き抜く力を育成する。 取組 自然体験活動の実施	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	501 千円
			R2年度	582 千円
32-04 子ども会野外体験活動支援 新規【生涯学習課】	未来を担う子どもたちが、たくましく生き抜く力を育成するため、子ども会が実施する野外体験活動を支援する。 取組 自然体験活動の実施	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
32-05 菩提キャンプ場リニューアル【ハード】 完成【生涯学習課】	実施事業者(指定管理者)による施設整備や管理運営により、自然共生型のアウトドアパークとして子どもから大人まであらゆる世代の人が自然の中で安心して遊べる施設として、菩提キャンプ場をリニューアルを実施。 取組 子どもの居場所づくり	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	41,600 千円
			R2年度	— 千円
32-06 青少年リーダー育成事業 新規【生涯学習課】	集団の中で自主的、指導的な行動ができる青少年リーダーを確保するため、中高生を対象としたジュニアリーダー養成研修会の開催や児童文化協会への引き続いての支援等により、次世代のリーダーを育成する。 取組 青少年リーダーの確保	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

施策32
青少年健全育成

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
32-07		R1年度	R2年度	R3年度
子どもの地域事業参加促進	地域の祭りや町の行事への子どもたちの参加を促進する。			
継続【生涯学習課】	取組 地域行事への参加促進	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
32-08		R1年度	R2年度	R3年度
児童生徒安全確保強化事業	地域ぐるみ児童生徒健全育成推進協議会を構成する社会教育団体と連携し、児童生徒の安全確保のための取組を強化する。			
継続【生涯学習課】	取組 地域ぐるみ児童生徒健全育成推進協議会の活動強化	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
32-09		R1年度	R2年度	R3年度
「あいさつ+1」運動推進事業	子どもの規範意識の向上を図るとともに、青少年を非行や犯罪から守るため、モデル地区を設定して、「あいさつ+1(プラスわん)」運動の定着を進め、町内全域への拡大を図る。			
継続【生涯学習課】	取組 「あいさつ+1(プラスわん)」運動の推進	事業費	R1年度 322 千円	R2年度 673 千円
32-10		R1年度	R2年度	R3年度
青色防犯パトロール強化事業	学校・家庭・地域社会の三者が一体となって、青色防犯パトロール車による見守りを強化するため、下校時のパトロール実施回数を増加させるとともに、企業や自主防犯団体等と連携のもと、青色防犯パトロール車両の増強を図る。			
継続【生涯学習課】	取組 青色防犯パトロールの強化	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円

まちづくり目標	IV人を育みみんなが学べるまちづくり	政策	⑪歴史文化・スポーツ活動の振興
施策33	文化財		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
33-01 片岡山のほとり レプリカ作製・活用 【ハード】	明治44年(1911)に橋本閑雪が聖徳太子と達磨大師が会合する片岡飢人伝説を題材に描いた屏風絵「片岡山のほとり」のレプリカ(複製品)を令和元年度に製作。令和2年度以降に達磨寺のほか東京講演等でも展示し、飢人伝説や達磨寺の魅力を発信する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【地域交流課】	取組「王寺町文化財保存活用地域計画」の実現			
		事業費	R1年度	2,700 千円
			R2年度	— 千円
33-02 文化財事業を目的とした 「ふるさと寄附金」の募集	令和元年度にふるさと納税が達磨寺方丈の保存修理に必要な額に到達したことから、令和2年度からは町の文化財保存活用地域計画に基づく事業を使用目的として募集する。また企業版ふるさと納税について、令和2年度税制改正により企業側が利用しやすくなったことから、町事業を積極的にPRして寄附を募る。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【政策推進課】	取組 ふるさと寄附金による文化財の保存・活用に対する支援			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
33-03 達磨寺方丈イベント支援	達磨寺方丈の保存修理が完成(令和2年12月)した後、江戸時代の建物が醸し出す歴史的空間の良さを生かして、コンサートの開催やギャラリーとして利用し、多様な人々の交流を生み出す場として活用する。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【地域交流課】	取組 達磨寺方丈の歴史的空間を生かしたイベントの開催			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	2,491 千円
33-04 西安寺跡活用事業	飛鳥時代寺院の遺構が良好に残り、古来の交通路である大和川の南岸にある「西安寺跡」について、令和2年度まで発掘調査を行う。その後、学校教育や観光資源として活用できるよう整備を行うため、国史跡への指定をめざす。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【地域交流課】	取組 西安寺跡発掘調査の公開と活用			
		事業費	R1年度	5,322 千円
			R2年度	3,000 千円
33-05 歴史・観光VR・アプリ、学習 プログラム開発(明神山眺望 ガイド)	明神山からは百舌鳥・古市古墳群や法隆寺、平城京、紀伊山地等が見え、これらを舞台にして起こったできごとが歴史絵巻のように楽しめる眺望を備えている。こうした歴史的眺望を楽しみ、明神山の魅力の向上・周知を図るため、令和2年度に「文化財保存活用地域計画等を活用した観光拠点づくり事業」補助金を活用しながらコンテンツを開発する。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【地域交流課】	取組 明神山からの歴史的眺望の活用			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	15,401 千円
33-06 歴史講座(歴史リレー講座・ プレミアムサロン)の開催	毎月第3日曜日に地域交流センターで、県内の歴史文化等に関して著名な講師陣による「歴史リレー講座」を開催。また、明神山での現地学習と複数回の座学による講座が魅力の「歴史プレミアムサロン」を開催。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【地域交流課】	取組 明神山からの歴史的眺望の活用			
		事業費	R1年度	1,580 千円
			R2年度	1,625 千円

施策33	文化財
------	-----

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
33-07 2市2町広域観光ルート整備推進協議会(ソフト)	隣接する2市2町(柏原市、香芝市、三郷町、王寺町)で連携し、広域観光ルートづくりに取り組んでいる。ウォーキングマップ、HP、イベント等でルートを活用し、エリアの魅力化に取り組む。またルート活用の機会拡大のため、関西圏のウォーキング協会に働きかける。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【地域交流課】	取組 明神山からの歴史的眺望の活用			
		事業費	R1年度	1,500 千円
			R2年度	1,500 千円
33-08 歴史冊子・パンフレットの刊行	住民と行政が一体となった文化財の保存・活用を進めるにあたり、まずは住民の文化財に対する関心を広げ理解を深める必要があるため、「王寺町文化財保存活用地域計画」で定めた関連文化財群をわかりやすく伝えるためのパンフレットを作成する。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【地域交流課】	取組 住民と一体となった文化財の保存・活用			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
33-09 観光ボランティアガイド補助・養成(観光協会)	達磨寺の定点ガイド(土・日・祝日)やウォーキングイベント開催など、町の魅力を発信されている王寺観光ボランティアガイドの会(現在40名)を支援するため、養成講座による人材育成等に対する補助を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【地域交流課】	取組 住民と一体となった文化財の保存・活用			
		事業費	R1年度	300 千円
			R2年度	300 千円

施策34	文化・芸術活動
------	---------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
34-01 各ホールの特性を生かした文化事業(民間のノウハウ)	文化福祉センター大ホール、いずみスクエアいずみホール、やわらぎ会館イベントホールについて、各ホール個々の施設の特性を生かした吹奏楽やコーラス、ハンドベルやピアノのコンサートなどの文化事業を推進する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 多彩な町主催の文化事業			
		事業費	R1年度	4,063 千円
			R2年度	4,357 千円
34-02 奈良県主催事業、大学との連携	奈良県主催の「ムジークフェストなら」や「奈良県大芸術祭・障害者大芸術祭」に町が参加し、様々な事業を実施するとともに、文化芸術活動が盛んな大学と連携し、コンサートや展示会を開催する。町民だけでなく、誰もが文化芸術に触れられる機会を提供・発信する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 奈良県主催事業、大学との連携			
		事業費	R1年度	1,377 千円
			R2年度	1,752 千円
34-03 伝統文化体験事業	伝統文化の継承・発展と子どもたちの豊かな人間性の涵養につながるよう、「伝統文化体験教室」を実施する。また、教室OB・OGの活動についても、発表の機会の創出等を支援する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【生涯学習課】	取組 伝統文化体験事業			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

施策34
文化・芸術活動

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
34-04 誰もが発表できる機会の提供	「リーべるアラカルト」「いずみアラカルト」での活動披露や、いずみスクエア内の「いずみギャラリー」等における展示など、町内外を問わず誰もが文化芸術活動を発表できる場を提供する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 誰もが発表できる機会の提供			
		事業費	R1年度	11 千円
			R2年度	11 千円
34-05 障害者による文化・芸術活動への支援	いずみスクエア内の「いずみギャラリー」等において、障害者の文化芸術活動や交流・発表の機会を支援する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 障害者による文化・芸術活動への支援			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
34-06 文化芸術団体の運営支援	ジュニア団体をはじめ、大人によるハンドベルや吹奏楽のチームなど、町が支援する「音楽のあるまちづくり」の活動を継承・発展させるため、指導者の確保や練習・発表の機会を提供するとともに、広報をより充実させ、加入者数の増加を図る。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 文化芸術団体の運営支援			
		事業費	R1年度	2,830 千円
			R2年度	2,830 千円
34-07 文化芸術活動の担い手育成	「王寺オペレータークラブ」の安定的な活動が継続できるよう、スタッフ募集や他団体のホールを視察するなど、文化芸術活動の担い手の育成を図る。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 文化芸術団体の運営支援			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

施策34
文化・芸術活動

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
34-08 音楽のあるまちづくりの推進	明神山や達磨寺、大和川ふれあい広場での自然と歴史を感じるコンサートや王寺駅前での街角コンサートなど、住民や来訪者が気軽に町中で音楽に触れ合えるよう、王寺町の地域特性を生かしたイベントを開催する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【文化交流課】	取組 文化芸術団体の運営支援			
		事業費	R1年度	560 千円
			R2年度	561 千円

施策35
スポーツ・レクリエーション

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
35-01 「やわらぎトラスト」支援事業	地域コミュニケーションと健康づくりに貢献するため、子どもから高齢者まで気軽に参加できる各種スポーツ教室「王寺やわらぎトラスト」の充実を図り、スポーツに取り組む機会づくりを進める。また、事業の透明化や体制強化のため法人格の取得を目指すとともに、安定した運営を支援する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【生涯学習課】	取組 「総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト」の充実			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
35-02 ラジオ体操推進事業	NHK巡回ラジオ体操を誘致するほか、ラジオ体操を子ども会だけでなく、身近なサロン活動の場でも実施するなど、場所・機会を拡大し、参加者を増加させる。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【生涯学習課】	取組 ラジオ体操の推進			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	520 千円
35-03 スポーツを推進する人材確保	体育協会やスポーツ推進委員の活動内容について、積極的に広報を行い、新たな加入を促すとともに、担い手となる人材の確保やスポーツ講習会の開催等を通じて、スポーツ人口の増加につなげる。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【生涯学習課】	取組 各種スポーツを推進する人材の確保			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
35-04 和マラソン大会の充実	体力向上や健康増進だけでなく、コミュニケーションの場として、また、王寺の師走の風物詩として今後も継続して実施する。参加者の安全確保や満足度向上にむけて、ゲストアスリートの招致などで魅力を高める。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【生涯学習課】	取組 和マラソン大会の充実			
		事業費	R1年度	2,669 千円
			R2年度	2,339 千円
35-05 町民体育大会リニューアル事業	住民の健康増進と体力の向上、住民相互の親睦を図るため、参加自治会の拡大を図るほか、企業や個人の参加を促すため、少人数でも参加できる仕組みや競技種目の検討を行う。また、模擬店を含めイベントの充実を図り、その魅力を積極的にPRする。	R1年度	R2年度	R3年度
見直し【生涯学習課】	取組 気軽に参加できる町民体育大会の開催			
		事業費	R1年度	1,512 千円
			R2年度	1,050 千円

施策35
スポーツ・レクリエーション

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
35-06		R1年度	R2年度	R3年度
王寺町スポーツ教室	新たに整備した「いずみアリーナ」を利用して、トップアスリートを活用したスポーツ教室を実施する。			
継続【生涯学習課】	取組 JFAこころのプロジェクト「夢の教室」等の開催	事業費	R1年度 500 千円	R2年度 500 千円
35-07		R1年度	R2年度	R3年度
こころのプロジェクト事業「夢の教室」	夢やあこがれをもち、スポーツを始めるきっかけとなるよう、引き続き「夢の教室」を実施する。			
継続【生涯学習課】	取組 JFAこころのプロジェクト「夢の教室」等の開催	事業費	R1年度 650 千円	R2年度 648 千円
35-08		R1年度	R2年度	R3年度
新テニスコート整備事業【ハード】	現在の泉の広場テニスコートが都市計画道路元町・畠田線の計画線上に位置し代替施設が必要なことから、整備予定の葛下貯留池を平時にはテニスコートとして有効活用できるよう整備する。（令和5年度完成予定）			
新規【生涯学習課】	取組 新テニスコートの整備	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
35-09		R1年度	R2年度	R3年度
指定管理者制度導入	体育施設の管理運営について、指定管理者制度の導入を検討し、サービスの向上を図る。			
新規【生涯学習課】	取組 体育施設の管理運営	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
35-10		R1年度	R2年度	R3年度
体育施設改修事業【ハード】	令和元年度に、王寺アリーナ内のトレーニングルームのリニューアルを実施。今後、空調の整備をはじめ計画的な施設改修を実施する。			
継続【生涯学習課】	取組 体育施設の管理運営	事業費	R1年度 13,753 千円	R2年度 11,636 千円
35-11		R1年度	R2年度	R3年度
大和川ジョギングコース活用推進事業	大和川ジョギングコースを活用して、近隣町と連携したイベント開催を実施する。また、夜間でも安心して走れるよう、照明施設の整備や更衣スペースの確保などアメニティーの充実を検討する。			
新規【生涯学習課】	取組 大和川ジョギングコースの利活用	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円

まちづくり目標5

活力とにぎわいのあるまちづくり

施策36 産業・雇用

施策37 定住促進

施策38 観光・交流

まちづくり目標	V 活力とにぎわいのあるまちづくり	政策	⑩ 活力の創出
施策36	産業・雇用		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
36-01 起業支援組織づくり 新規 【 地域交流課 】	王寺町での新規開業を目指す事業者は、空き店舗情報や事業者間ネットワークを案内できる組織が必要であり、主体性、拠点性、人材等の観点からの起業支援組織づくりを検討する。	R1年度	R2年度	R3年度
	取組 起業の支援	事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
36-02 観光振興による商業活性化 継続 【 地域交流課 】	王寺町の主要産業である第3次産業活性化のため、観光産業を育成する。王寺駅前に宿泊施設が開業することから、「稼げる地域づくり」としての地域活性化を図るため、商工会、金融機関、観光協会等が連携できる場づくりに取り組む。	R1年度	R2年度	R3年度
	取組 観光振興による商業の活性化	事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
36-03 食イベント実施・充実 継続 【 地域交流課 】	王寺駅前の事業者（飲食業、小売業、サービス業）の活性化を目的に、「まちバル」「マルシェ」等のイベントを行うことで集客を図る。事業者間の連携や認知度を高めることにより、駅前の賑わい創出につなげる。	R1年度	R2年度	R3年度
	取組 王寺駅周辺のにぎわい創出	事業費	R1年度 1,000 千円 R2年度 1,260 千円	
36-04 特産品の開発支援 継続 【 地域交流課 】	王寺駅前には飲食店が集まっている現状から、「食」に関する特産物、名物料理を開発・プロモーションすることで地域活性化を図る。「お土産物」についても、町の特性を活かしながら検討を進める。	R1年度	R2年度	R3年度
	取組 王寺駅周辺のにぎわい創出	事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	

施策37

定住促進

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
37-01	地域医療の核となる施設として、西和医療センターのJR王寺駅南口への誘致を目指す。県の「西和医療センターのあり方検討」の結果を踏まえ、県と協議を行っていく。	R1年度	R2年度	R3年度
西和医療センター誘致				
新規【まちづくり推進課】				
	取組「王寺町立地適正化計画」に基づく施設等の誘導	事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
37-02	平成30年3月に立地適正化計画（都市再生特別措置法）を策定。窓口業務等において誘導区域の情報提供及び指導等を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
立地適正化計画に基づく施設等の誘導				
継続【都市計画課】				
	取組「王寺町立地適正化計画」に基づく施設等の誘導	事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
37-03	三世代世帯の増加を推進するとともに、若者の定住を促進し、本町の定住人口の増加、バランスのとれた人口構成の実現及び地域社会の活性化に資することを目的に、王寺町で定住するための住宅取得や住宅リフォームにかかる費用の一部を補助する。	R1年度	R2年度	R3年度
三世代ファミリー定住支援				
継続【まちづくり推進課】				
	取組 ライフステージに応じた移住・定住施策	事業費	R1年度	4,000 千円
			R2年度	4,000 千円
37-04	県内企業などの人材不足の解消及び地域課題の解決並びに県内への移住・定住の促進を図るため、東京圏から移住し、県内で就業又は起業をしようとする方に対し、移住支援金を支給する。	R1年度	R2年度	R3年度
移住支援金				
継続【まちづくり推進課】				
	取組 ライフステージに応じた移住・定住施策	事業費	R1年度	1,000 千円
			R2年度	1,000 千円

まちづくり目標	V 活力とにぎわいのあるまちづくり	政策	⑱ 交流の促進
施策38	観光・交流		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
38-01 明神山整備事業 【ハード】	明神山は、1800年の歴史的眺望を俯瞰することができる重点観光スポットであり、さらに多くの人に訪れてもらう仕掛けづくりとして「明神山修景整備デザイン計画書」を基に整備を行っていく。令和元年度においては栈敷デッキ開設や藤井ルートを整備。令和2年度以降は、北デッキ改修や新たなハイキングルート整備に向けた調査・設計を行っていく。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【建設課】	取組 文化財等の活用			
		事業費	R1年度	6,658 千円
			R2年度	36,287 千円
38-02 雪丸啓発推進事業	聖徳太子の愛犬であり、王寺町の観光広報大使「雪丸」を活用した事業所等による商品開発やグッズ開発の促進、またイベント出演(テレビ、新聞、雑誌等)を通じての町の観光資源である達磨寺や明神山等の認知度の向上に取り組む。雪丸を多面的に活用し、継続的のPR活動を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【地域交流課】	取組 文化財等の活用			
		事業費	R1年度	4,000 千円
			R2年度	3,700 千円
38-03 歴史資源を活用した旅行プランの提案(宿泊施設との連携)	令和2年度に王寺駅前にホテルが開業されることから、長期滞在周遊型の観光スタイルの確立に向けて、ホテルと交通事業者の連携による宿泊プランや各種事業(ウォーキング、フォトログ、食イベント、鉄道イベント)を実施する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【地域交流課】	取組 広域観光ルートの形成			
		事業費	R1年度	1,000 千円
			R2年度	— 千円
38-04 広域観光案内所の整備 【ハード】	王寺駅の利便性、拠点性を活かした長期滞在周遊型の観光スタイルに欠かせないものとして、広域観光案内所の整備を検討する。今後、場所の選定、実施主体、周辺観光地、交通機関等の連携を含めて研究を進める。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【地域交流課】	取組 効果的な情報発信			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
38-05 王寺町PRイベント	聖徳太子1400年御遠忌に向けて、このエリアの認知度を高め、首都圏から誘客を図るため、聖徳太子をテーマに王寺町の魅力を発信する。また、おおさか東線が全線開通したことから、新大阪駅を経由した誘客を目的に、福岡での観光誘客イベントも実施する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【地域交流課】	取組 効果的な情報発信			
		事業費	R1年度	15,000 千円
			R2年度	14,900 千円
38-06 DMO組織づくりに向けた検討(再掲)	周辺自治体と連携しながら、各町の役割を見定め、「交通の強み」「宿泊の強み」「観光地の強み」等を活かして西和エリアの活性化を図る。この分野を研究されている高橋教授(近畿大学)の指導のもと関係団体、機関等を交えて勉強会を行う。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【地域交流課】	取組 日本版DMOの組織づくり			
		事業費	R1年度	1,000 千円
			R2年度	— 千円
38-07 集客イベントの開催	王寺駅の利便性を生かし、「王寺ミルキーウェイ(天の川)」や鉄道愛好家による鉄道イベント、フォトログ等を開催。王寺町商工会や企業等と連携して、イベントの魅力を高め、さらなるにぎわいの創出につなげる。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【地域交流課 政策推進課】	取組 イベントによる交流人口の拡大			
		事業費	R1年度	14,200 千円
			R2年度	16,000 千円